

別 表

遺構；別表 1～7

遺物；別表 8～13

別
表

別表 1

豊穴建物跡一覧表

M 24-S I 126		府中DC化計画
図面1, 図版5		
建物	グリッド	M 24 (6・7, 12・13) 区。
	プラン	方形。
	主軸	N - 10° - W。
	規模	南北 3.23(3.66) × 東西 3.67 (4.18) m。
	竪壁	北壁中央東寄り。下欄参照。 高さ最大 48 cm。斜めに立ち上る。
	ピット	床面より 7 基。
	周溝	全周する。幅 10 ~ 25・深さ 5 ~ 11 cm。
	床	全面貼り床。周辺部はやや軟弱。
掘り方	方	全体を浅く平坦に掘り込む。
	備考	東壁を M 24-S A 1 に、竪奥壁をピットに、北西部を撓乱に切られる。
竪	位置	北壁中央東寄り。
	用材	白色砂質粘土。
	中央部軸長	80 (152) cm 以上。
	壁掘り込み	U字形に 40 cm 以上。
	床掘り込み	不定形に 18 cm。
	奥壁	25 ~ 30° (掘り方は 20 ~ 25°) で立ち上る。
	煙道	不明。
	両袖部内幅	48 cm。
	内方張り出し	左 26, 右 16 cm。
	火床	建物床面とほぼ同じ。
竪	位置	北側が M 24-P 3-1061 に切られて消失する。焚口の遺存規模は南北 57 × 東西 56 cm。竪前は焼土・炭面が拡散する。
	用材	掘り方には支脚痕とみられる小穴を検出。
	竪備考	

M 24-S I 127		府中DC化計画
図面2, 図版6		
建物	グリッド	M 24 (12・13, 14・15) 区。
	プラン	方形?
	主軸	N - 93° - W。
	規模	南北 1.78(2.12) 以上 × 東西 2.10 m。
	竪壁	西壁中央南寄り。下欄参照。 高さ最大 32 cm。やや斜めに立ち上る。
	ピット	床面より 1 基。
	周溝	巡る。幅 12 ~ 20・深さ 1 ~ 16 cm。
	床	ほぼ全面貼り床。
掘り方	方	粗くやや起伏がある。
	備考	建物東側は調査地区外に位置する。
竪	位置	西壁中央南寄り。
	用材	白色砂質粘土。
	中央部軸長	114 (204) cm。
	壁掘り込み	U字形に 105 cm。
	床掘り込み	不定長方形に 19 cm。
	奥壁	42° (掘り方も同じ) で立ち上る。
	煙道	外方へ 38 cm 煙道が延びる。
	両袖部内幅	20 cm。
	内方張り出し	左 0, 右 0 cm。
	火床	建物床面とほぼ同じ。
竪	竪備考	焚口の遺存規模は南北 20 × 東西 86 cm。
	竪備考	

M 24 - S I 128		府中DC化計画
図面3~6, 図版7・8		
建物	グリッド	M 24 (9~11, 6~8) 区。
	プラン	方形。
	主軸	N - 91.5° - E。
	規模	南北 3.62(3.88) × 東西 4.38 (4.80) m。
	竈	竈A: 北壁中央東寄り。 竈B: 東壁南寄り。 下欄参照。
	炉	建物中心からやや北西寄り。 下欄参照。
	壁	高さ最大 40 cm。 斜めに立ち上る。
	ピット	床面より 5 基、床下より 25 基。
	周溝	全周する。 幅 16 ~ 30・深さ 2 ~ 20 cm。
竈A	床	ほぼ全面貼り床。 西側と外周部は軟弱。
	掘り方	粗く起伏がある。
	備考	建物南壁中央部は搅乱に切られる。
	位置	北壁中央東寄り。
	用材	白色砂質粘土。
	中央部軸長	80 (136) cm。
	壁掘り込み	U字形に 49 cm。
	床掘り込み	不定形に 20 cm。
	奥壁	38° (掘り方は 7° ~ 38°) で立ち上る。
竈B	煙道	不明。
	両袖部内幅	40 cm。
	内方張り出し	左 0, 右 14 cm。
	火床	建物床面とほぼ同じ。
	位置	東壁南寄り。
	用材	白色砂質粘土。
	中央部軸長	130 (174) cm。
	壁掘り込み	V字形に 71 cm。
	床掘り込み	不定長方形に 23 cm。
炉	奥壁	36° (掘り方は 11° ~ 38°) で立ち上る。
	煙道	外方へ 40 cm 煙道が延びる。
	両袖部内幅	46 cm。
	内方張り出し	左 35, 右 16 cm。
	火床	前部~中央部は建物床面とほぼ同じだが、奥壁部分は 10 cm 低い。
	位置	建物中心からやや北西寄り。
	プラン	不定形。
	規模	南北 32 ~ 88 × 東西 125 ~ 176 × 深さ 3 ~ 11 cm。
	方位	不明。
P-1	充填土	中心部に焼土と周辺には白色砂質粘土と炭が集中する。
	火床	床面とほぼ同じ。 地床炉。
	位置	竈Bの南。
	プラン	不定橢円形。
	規模	長軸 134 × 短軸 110 × 深さ 7 ~ 14 cm。
	方位	N - 86° - W。
	備考	中心部西側に広がる炭土中から、須恵器塊と長さ 10 cm ほどの炭化材が出土 (分析対象。第4章参照)。
	備考	土坑状のピット内からは須恵器・土師器片が多数出土。竈B構築以前の貯蔵穴とみられる。

M 24 - S I 129		府中DC化計画	
図面 7・8, 図版 9			
建物	グリッド	M 24 (6~8, 3~4) 区。	
	プラン	方形?	
	主軸	N - 89° - E。	
	規模	南北 1.52(1.81) 以上 × 東西 3.08 (3.28) m 以上。	
	竪壁	東壁中央? 下欄参照。 高さ最大 44 cm。斜めに立ち上る。	
	ピット	床下より 6 基。	
	周溝	断続的に巡る。幅 16 ~ 22・深さ 5 ~ 11 cm。	
	床	軟弱で不明瞭。	
	掘り方	全体を浅く平坦に掘り込む。	
竪	備考	東側・南側 (竪含む) は調査地区外。西壁の一部を搅乱に切られる。西壁近くの床面上から石鎚巡方が出土。	
	位置	東壁中央?	
	用材	白色砂質粘土。	
	中央部軸長	118 (98) cm 以上。	
	壁掘り込み	コ字形? に 44 cm 以上。	
	床掘り込み	箱型に 14 ~ 36 cm。	
	奥壁	27° (掘り方は 43 ~ 90°) で立ち上る。	
	煙道	不明。	
	両袖部内幅	25 cm 以上。	
M 24 - S I 130	内方張り出し	左 16 cm, 右不明。	
	火床	建物床面とほぼ同じ。	
	府中DC化計画		
	図面 9~11, 図版 10・11		
建物	グリッド	M 24 (7・8, 6・7) 区。	
	プラン	方形。	
	主軸	N - 90° - W。	
	規模	拡張後 (上層周溝): 南北 3.60(4.00) × 東西 2.99 (3.40) m。 拡張前 (下層周溝): 南北 3.52 × 東西 2.68 m。	
	竪壁	西壁中央。下欄参照。 高さ最大 床 1 : 64 cm. 床 2 : 68 cm。斜めに立ち上る。	
	ピット	上層の床より 3 基、掘り方から 10 基。	
	周溝	全周する。上層周溝: 幅 12 ~ 33・深さ 12 ~ 20 cm。下層周溝: 幅 22 ~ 36・深さ 12 ~ 16 cm。	
	床	全面貼り床 (上層・下層とも)。	
	掘り方	全体を浅く平坦に掘り込む。	
竪	備考	上層床面北側のピットとその周辺から、土師器壊が 3 点、覆土中から墨書き土器が 1 点出土。	
	位置	西壁中央。	
	用材	白色砂質粘土、土師器甕。	
	中央部軸長	187 (183) cm。	
	壁掘り込み	凸字形に 140 cm。	
	床掘り込み	方形に 12 cm。	
	奥壁	10 ~ 22° (掘り方は 20°) で立ち上る。	
	煙道	外方へ 110 cm 煙道が延びる。	
	両袖部内幅	66 cm。	
M 24 - S I 130	内方張り出し	左 32, 右 27 cm。	
	火床	建物床面とほぼ同じ。	
	府中DC化計画		
	図面 9~11, 図版 10・11		
建物	グリッド	M 24 (7・8, 6・7) 区。	
	プラン	方形。	
	主軸	N - 90° - W。	
	規模	拡張後 (上層周溝): 南北 3.60(4.00) × 東西 2.99 (3.40) m。 拡張前 (下層周溝): 南北 3.52 × 東西 2.68 m。	
	竪壁	西壁中央。下欄参照。 高さ最大 床 1 : 64 cm. 床 2 : 68 cm。斜めに立ち上る。	
	ピット	上層の床より 3 基、掘り方から 10 基。	
	周溝	全周する。上層周溝: 幅 12 ~ 33・深さ 12 ~ 20 cm。下層周溝: 幅 22 ~ 36・深さ 12 ~ 16 cm。	
	床	全面貼り床 (上層・下層とも)。	
	掘り方	全体を浅く平坦に掘り込む。	
竪	備考	上層床面北側のピットとその周辺から、土師器壊が 3 点、覆土中から墨書き土器が 1 点出土。	
	位置	西壁中央。	
	用材	白色砂質粘土、土師器甕。	
	中央部軸長	187 (183) cm。	
	壁掘り込み	凸字形に 140 cm。	
	床掘り込み	方形に 12 cm。	
	奥壁	10 ~ 22° (掘り方は 20°) で立ち上る。	
	煙道	外方へ 110 cm 煙道が延びる。	
	両袖部内幅	66 cm。	
M 24 - S I 130	内方張り出し	左 32, 右 27 cm。	
	火床	建物床面とほぼ同じ。	
	府中DC化計画		
	図面 9~11, 図版 10・11		
建物	グリッド	M 24 (7・8, 6・7) 区。	
	プラン	方形。	
	主軸	N - 90° - W。	
	規模	拡張後 (上層周溝): 南北 3.60(4.00) × 東西 2.99 (3.40) m。 拡張前 (下層周溝): 南北 3.52 × 東西 2.68 m。	
	竪壁	西壁中央。下欄参照。 高さ最大 床 1 : 64 cm. 床 2 : 68 cm。斜めに立ち上る。	
	ピット	上層の床より 3 基、掘り方から 10 基。	
	周溝	全周する。上層周溝: 幅 12 ~ 33・深さ 12 ~ 20 cm。下層周溝: 幅 22 ~ 36・深さ 12 ~ 16 cm。	
	床	全面貼り床 (上層・下層とも)。	
	掘り方	全体を浅く平坦に掘り込む。	
竪	備考	上層床面北側のピットとその周辺から、土師器壊が 3 点、覆土中から墨書き土器が 1 点出土。	
	位置	西壁中央。	
	用材	白色砂質粘土、土師器甕。	
	中央部軸長	187 (183) cm。	
	壁掘り込み	凸字形に 140 cm。	
	床掘り込み	方形に 12 cm。	
	奥壁	10 ~ 22° (掘り方は 20°) で立ち上る。	
	煙道	外方へ 110 cm 煙道が延びる。	
	両袖部内幅	66 cm。	
M 24 - S I 130	内方張り出し	左 32, 右 27 cm。	
	火床	建物床面とほぼ同じ。	
	府中DC化計画		
	図面 9~11, 図版 10・11		
建物	グリッド	M 24 (7・8, 6・7) 区。	
	プラン	方形。	
	主軸	N - 90° - W。	
	規模	拡張後 (上層周溝): 南北 3.60(4.00) × 東西 2.99 (3.40) m。 拡張前 (下層周溝): 南北 3.52 × 東西 2.68 m。	
	竪壁	西壁中央。下欄参照。 高さ最大 床 1 : 64 cm. 床 2 : 68 cm。斜めに立ち上る。	
	ピット	上層の床より 3 基、掘り方から 10 基。	
	周溝	全周する。上層周溝: 幅 12 ~ 33・深さ 12 ~ 20 cm。下層周溝: 幅 22 ~ 36・深さ 12 ~ 16 cm。	
	床	全面貼り床 (上層・下層とも)。	
	掘り方	全体を浅く平坦に掘り込む。	
竪	備考	上層床面北側のピットとその周辺から、土師器壊が 3 点、覆土中から墨書き土器が 1 点出土。	
	位置	西壁中央。	
	用材	白色砂質粘土、土師器甕。	
	中央部軸長	187 (183) cm。	
	壁掘り込み	凸字形に 140 cm。	
	床掘り込み	方形に 12 cm。	
	奥壁	10 ~ 22° (掘り方は 20°) で立ち上る。	
	煙道	外方へ 110 cm 煙道が延びる。	
	両袖部内幅	66 cm。	
M 24 - S I 130	内方張り出し	左 32, 右 27 cm。	
	火床	建物床面とほぼ同じ。	
	府中DC化計画		
	図面 9~11, 図版 10・11		
建物	グリッド	M 24 (7・8, 6・7) 区。	
	プラン	方形。	
	主軸	N - 90° - W。	
	規模	拡張後 (上層周溝): 南北 3.60(4.00) × 東西 2.99 (3.40) m。 拡張前 (下層周溝): 南北 3.52 × 東西 2.68 m。	
	竪壁	西壁中央。下欄参照。 高さ最大 床 1 : 64 cm. 床 2 : 68 cm。斜めに立ち上る。	
	ピット	上層の床より 3 基、掘り方から 10 基。	
	周溝	全周する。上層周溝: 幅 12 ~ 33・深さ 12 ~ 20 cm。下層周溝: 幅 22 ~ 36・深さ 12 ~ 16 cm。	
	床	全面貼り床 (上層・下層とも)。	
	掘り方	全体を浅く平坦に掘り込む。	
竪	備考	上層床面北側のピットとその周辺から、土師器壊が 3 点、覆土中から墨書き土器が 1 点出土。	
	位置	西壁中央。	
	用材	白色砂質粘土、土師器甕。	
	中央部軸長	187 (183) cm。	
	壁掘り込み	凸字形に 140 cm。	
	床掘り込み	方形に 12 cm。	
	奥壁	10 ~ 22° (掘り方は 20°) で立ち上る。	
	煙道	外方へ 110 cm 煙道が延びる。	
	両袖部内幅	66 cm。	
M 24 - S I 130	内方張り出し	左 32, 右 27 cm。	
	火床	建物床面とほぼ同じ。	
	府中DC化計画		
	図面 9~11, 図版 10・11		
建物	グリッド	M 24 (7・8, 6・7) 区。	
	プラン	方形。	
	主軸	N - 90° - W。	
	規模	拡張後 (上層周溝): 南北 3.60(4.00) × 東西 2.99 (3.40) m。 拡張前 (下層周溝): 南北 3.52 × 東西 2.68 m。	
	竪壁	西壁中央。下欄参照。 高さ最大 床 1 : 64 cm. 床 2 : 68 cm。斜めに立ち上る。	
	ピット	上層の床より 3 基、掘り方から 10 基。	
	周溝	全周する。上層周溝: 幅 12 ~ 33・深さ 12 ~ 20 cm。下層周溝: 幅 22 ~ 36・深さ 12 ~ 16 cm。	
	床	全面貼り床 (上層・下層とも)。	
	掘り方	全体を浅く平坦に掘り込む。	
竪	備考	上層床面北側のピットとその周辺から、土師器壊が 3 点、覆土中から墨書き土器が 1 点出土。	
	位置	西壁中央。	
	用材	白色砂質粘土、土師器甕。	
	中央部軸長	187 (183) cm。	
	壁掘り込み	凸字形に 140 cm。	
	床掘り込み	方形に 12 cm。	
	奥壁	10 ~ 22° (掘り方は 20°) で立ち上る。	
	煙道	外方へ 110 cm 煙道が延びる。	
	両袖部内幅	66 cm。	
M 24 - S I 130	内方張り出し	左 32, 右 27 cm。	
	火床	建物床面とほぼ同じ。	
	府中DC化計画		
	図面 9~11, 図版 10・11		
建物	グリッド	M 24 (7・8, 6・7) 区。	
	プラン	方形。	
	主軸	N - 90° - W。	
	規模	拡張後 (上層周溝): 南北 3.60(4.00) × 東西 2.99 (3.40) m。 拡張前 (下層周溝): 南北 3.52 × 東西 2.68 m。	
	竪壁	西壁中央。下欄参照。 高さ最大 床 1 : 64 cm. 床 2 : 68 cm。斜めに立ち上る。	
	ピット	上層の床より 3 基、掘り方から 10 基。	
	周溝	全周する。上層周溝: 幅 12 ~ 33・深さ 12 ~ 20 cm。下層周溝: 幅 22 ~ 36・深さ 12 ~ 16 cm。	
	床	全面貼り床 (上層・下層とも)。	
	掘り方	全体を浅く平坦に掘り込む。	
竪	備考	上層床面北側のピットとその周辺から、土師器壊が 3 点、覆土中から墨書き土器が 1 点出土。	
	位置	西壁中央。	
	用材	白色砂質粘土、土師器甕。	
	中央部軸長	187 (183) cm。	
	壁掘り込み	凸字形に 140 cm。	
	床掘り込み	方形に 12 cm。	
	奥壁	10 ~ 22° (掘り方は 20°) で立ち上る。	
	煙道	外方へ 110 cm 煙道が延びる。	
	両袖部内幅	66 cm。	
M 24 - S I 130	内方張り出し	左 32, 右 27 cm。	
	火床	建物床面とほぼ同じ。	
	府中DC化計画		
	図面 9~11, 図版 10・11		
建物	グリッド	M 24 (7・8, 6・7) 区。	
	プラン	方形。	
	主軸	N - 90° - W。	
	規模	拡張後 (上層周溝): 南北 3.60(4.00) × 東西 2.99 (3.40) m。 拡張前 (下層周溝): 南北 3.52 × 東西 2.68 m。	
	竪壁	西壁中央。下欄参照。 高さ最大 床 1 : 64 cm. 床 2 : 68 cm。斜めに立ち上る。	
	ピット	上層の床より 3 基、掘り方から 10 基。	
	周溝	全周する。上層周溝: 幅 12 ~ 33・深さ 12 ~ 20 cm。下層周溝: 幅 22 ~ 36・深さ 12 ~ 16 cm。	
	床	全面貼り床 (上層・下層とも)。	
	掘り方	全体を浅く平坦に掘り込む。	
竪	備考	上層床面北側のピットとその周辺から、土師器壊が 3 点、覆土中から墨書き土器が 1 点出土。	
	位置	西壁中央。	
	用材	白色砂質粘土、土師器甕。	
	中央部軸長	187 (183) cm。	
	壁掘り込み	凸字形に 140 cm。	
	床掘り込み	方形に 12 cm。	
	奥壁	10 ~ 22° (掘り方は 20°) で立ち上る。	
	煙道	外方へ 110 cm 煙道が延びる。	
	両袖部内幅	66 cm。	
M 24 - S I 130	内方張り出し	左 32, 右 27 cm。	
	火床	建物床面とほぼ同じ。	
	府中DC化計画		
	図面 9~11, 図版 10・11		
建物	グリッド	M 24 (7・8, 6・7) 区。	
	プラン	方形。	

M 24 - S I 131		府中DC化計画	
図面 12・13, 図版 12			
建物	グリッド プラン 主軸 規模 竪壁 ピット 周溝 床 掘り方 備考	M 24 (8~10, 3・4) 区。 方形? N - 88° - E。 南北 2.44 (2.80) 以上 × 東西 2.70 (3.44) m。 東壁中央? 下欄参照。 高さ最大 58 cm。斜めに立ち上る。 床面より 1 基、床下より 6 基。 巡る。幅 18 ~ 32・深さ 5 ~ 16 cm。 不明瞭。 全体を浅く平坦に掘り込む。 南側は調査地区外。西壁を搅乱に切られる。	
竪	位置 用材 中央部軸長 壁掘り込み 床掘り込み 奥壁 煙道 両袖部内幅 内方張り出し 火床	東壁中央? 白色砂質粘土。 123 (136) cm。 コ字形に 58 cm。 不定形に 16 cm。 22° (掘り方は 24 ~ 73°) で立ち上る。 不明。 55 cm 以上。 左 31, 右 36 cm。 建物床面とほぼ同じ。	竪備考 焚口の遺存規模は南北 55 × 東西 70 cm。

M 24 - S I 132		府中DC化計画	
図面 14 ~ 18, 図版 13・14			
建物	グリッド プラン 主軸 規模 竪 炉 壁 ピット・ 落ち込み 周溝 床 掘り方 備考	M 24 (6~8, 9・10) 区。 拡張前: 方形。拡張後: 長方形。 N - 86° - E。 拡張後 (上層周溝): 南北 3.28 (3.89) × 東西 5.54 (6.06) m。 拡張前 (下層周溝): 南北 3.26 × 東西 3.84 m。 竪 A: 北壁中央東寄り。竪 B: 東壁中央南寄り。下欄・次頁参照。 炉 A: 床 1 ほぼ中央部。炉 B: 床 2 中央よりやや西寄り。次頁参照。 高さ最大 上層床: 68 cm。下層床: 72 cm。斜めに立ち上る。 上層床よりピット 4 基、下層床よりピット 10 基 (うち 1 基は貯藏穴とみられる)、掘り方より ピット 10 基・溝状落ち込み 1 条。 全周する。上層周溝: 幅 15 ~ 25・深さ 8 ~ 20 cm。下層周溝: 幅 22 ~ 36・深さ 12 ~ 16 cm。 上層床は全面貼り床。下層床は部分的で不明瞭 (図面 15 参照)。 粗く起伏がある。 南壁は M 24 - S I 135 に切られる。	
竪 A	位置 用材 中央部軸長 壁掘り込み 床掘り込み 奥壁 煙道 両袖部内幅 内方張り出し 火床	北壁中央東寄り。 白色砂質粘土、河原石。 120 (132) cm。 U字形に 79 cm。 隅丸長方形に 10 cm。 45° (掘り方は 4° ~ 31°) で立ち上る。 不明。 40 cm。 左 7, 右 32 cm。 建物床面とほぼ同じ。	竪 A 備考 両袖にほぼ同形の河原石 が組まれていた。火床中 央には支脚石が 2 つ並立 した状態であった。焚口 の遺存規模は南北 40 × 東西 42 cm。浅い掘り込 みの棚状施設が竪両側に 付く。竪周辺から土師器 甕などが多く出土。拡張 後に構築された竪とみら れる。

別表 1-5

竈 B	位 置	東壁中央南寄り。	竈 B 備 考	焚口の遺存規模は南北 40 × 東西 36 cm。火床中央は硬化した焼土が貼り付く。天井部がわずかに残存し、煙道煙出し口までつながった状態で残存。また竈の両側には白色砂質粘土を貼り付けた棚状施設が建物から 30 ~ 40 cm 外方へ張り出す。棚状施設の掘り方からピットを 2 基検出。拡張以前に構築され、拡張後も使用されていた可能性がある。
	用 材	白色砂質粘土。		
	中 央 部 軸 長	110 (183) cm。		
	壁 掘 り 込 み	U字形に 73 cm。		
	床 掘 り 込 み	不定形に 10 cm。		
	奥 壁	36° (掘り方も同じ) で立ち上る。		
	煙 道	径約 22 cm の煙道口あり。外方へ 60 cm 煙道が延びる。		
	両 袖 部 内 幅	46 cm。		
	内 方 張 り 出 し	左 2, 右 0 cm。		
炉 A	火 床	前部は建物床面より 8 cm 低く、奥壁にかけ 6 cm 高くなる。		
	位 置	上層床ほぼ中央部。	炉 A 備 考	上層の床面上で検出。
	プ ラ ン	不定楕円形。		
	規 模	長軸 40 × 短軸 26 × 深さ 16 cm。		
	方 位	N - 75.5° - E。		
炉 B	充 填 土	図面に記載。	炉 B 備 考	拡張前に伴う炉。使用時は方形状の建物中央に設置していたとみられる。焼土を含む覆土を採取し、分析を行った。第 4 章参照。
	火 床	床面よりやや低い。		
	位 置	掘り込み直上。中央よりやや西寄り。		
	プ ラ ン	不定楕円形。		
	規 模	長軸 86 × 短軸 65 × 深さ 20 cm。		
	方 位	N - 2° - W。		
	充 填 土	図面に記載。		
	火 床	床面より低い。		

M 24 - S I 133		府中 D C 化計画
図面 19・20, 図版 15・16		
建 物	グ リ ッ ド	M 24 (6・7, 7・8) 区。
	プ ラ ン	方形か長方形?
	主 軸	N - 89° - E。
	規 模	南北 2.58 (3.08) × 東西 2.38 (2.72) m 以上。
	竈 壁	東壁中央南寄り。下欄参照。
	壁	高さ最大 37 cm。斜めに立ち上る。
	ピ ッ ト	床面より 2 基。
	周 溝	巡る。幅 18 ~ 32・深さ 5 ~ 16 cm。
	床	全面貼り床?
	掘 り 方	起伏激しい。
竈	備 考	西側は調査地区外。入子状に M 24 - S I 134 を切る。
	位 置	東壁中央南寄り。
	用 材	白色砂質粘土。
	中 央 部 軸 長	92 (124) cm。
	壁 掘 り 込 み	U字形に 60 cm。
	床 掘 り 込 み	隅丸長方形に 18 cm。
	奥 壁	40° (掘り方は 29°) で立ち上る。
	煙 道	不明。
	両 袖 部 内 幅	45 cm。
	内 方 張 り 出 し	左 24, 右 19 cm。
	火 床	建物床面より 8 cm 低い。

M 24 - S I 134		府中DC化計画
図面 21, 図版 15・16		
建物	グリッド	M 24 (6・7, 7・8) 区。
	プラン	方形か長方形?
	主軸	N - 92° - W (西壁側に竈があると仮定)。
	規模	南北 3.98 (4.20) × 東西 3.24 (3.36) m 以上。
	竈壁	未検出。調査地区外へ延びる西壁に有する? 高さ最大 40 cm。やや斜めに立ち上る。
	ピットト溝	床面から 4 基、掘り方から 9 基。 現況未検出。
	床	南壁沿いで焼土面を伴った床面らしき層を一部確認する。
	掘り方	起伏激しい。
	備考	西側は調査地区外。M 24 - S I 133 に入子状態で切られているため壁周辺部のみ残存。
	位用材	
竈	中央部軸長	
	壁掘り込み	
	床掘り込み	
	奥壁	
	煙道	
	両袖部内幅	
	内方張り出し	
	火床	
		竈備考

M 24 - S I 135		府中DC化計画
図面 22, 図版 17		
建物	グリッド	M 24 (7・8, 8・9) 区。
	プラン	方形。
	主軸	N - 90° - E。
	規模	南北 2.94 (3.48) × 東西 2.40 (2.82) m。
	竈壁	東壁中央南寄り。下欄参照。 高さ最大 45 cm。斜めに立ち上る。
	ピットト溝	床面より 3 基。 全周する。幅 11 ~ 24・深さ 2 ~ 15 cm。
	床	全面貼り床。
	掘り方	全体を浅く平坦に掘り込む。
	備考	M 24 - S I 132 を切る。
	位用材	
竈	中央部軸長	東壁中央南寄り。 白色砂質粘土。 102 (136) cm。
	壁掘り込み	V字形に 89 cm。
	床掘り込み	長円形に 14 cm。
	奥壁	22° (掘り方は 43 ~ 61°) で立ち上る。
	煙道	外方へ 60 cm 煙道が延びる。煙道口? のような楕円ピット (長軸 41 × 短軸 31 cm) を検出。
	両袖部内幅	30 cm。
	内方張り出し	左 14, 右 0 cm。
	火床	焚口は建物床面とほぼ同じだが、奥壁にかけ 11 cm 高くなる。
		竈備考

別表 2

掘立柱建物跡一覧表

M 24-S B 3		府中DC化計画
図面 23, 図版 18		
グリッド	M 24 (8~10, 12~14) 区。	
規 模	桁行 3 間 (6.00 m) × 梁行 2 間 (4.60 m)。	
方 向	東西棟。建物方位は真東に対して 8° 北へ偏る。	
柱 間 寸 法	桁行 2.00 m 等間、梁行 2.30 m 等間。	
掘り方プラン	L字形・隅丸長方形 (断面: 逆台形)。	
掘り方規模	長軸 82~129 × 短軸 44~72 × 深さ 49~60 cm。	
備 考	P-1-1, P-2-1・3, P-3-3 が搅乱に、P-4-1 が M 24-S A 3 P-3 に切られる。	
M 24-S B 4		府中DC化計画
図面 24, 図版 19		
グリッド	M 24 (11~13, 11~13) 区。	
規 模	桁行 3 間 (6.60 m) × 梁行 2 間 (4.85 m)。	
方 向	東西棟。建物方位は真東に対して 4.5° 北へ偏る。	
柱 間 寸 法	桁行 2.20 m 等間、梁行 2.42 m 等間。	
掘り方プラン	楕円形・不定楕円連結形 (断面: 逆台形)。	
掘り方規模	長軸 41~96 × 短軸 34~52 × 深さ 37~72 cm。	
備 考	P-1-2, P-4-1・2 が搅乱に切られる。	
M 24-S B 5		府中DC化計画
図面 25, 図版 20		
グリッド	M 24 (11・12, 16~18) 区。	
規 模	桁行 2 間 (4.35 m) × 梁行 1 間 (2.40 m)。	
方 向	南北棟。建物方位は真北に対して 13° 西へ偏る。	
柱 間 寸 法	桁行 2.17 m 等間、梁行 2.40 m 等間。	
掘り方プラン	楕円形・楕円連結形 (断面: 逆台形・漏斗形)。	
掘り方規模	長軸 32~88 × 短軸 25~44 × 深さ 35~72 cm。	
備 考	P-2-1 が搅乱に切られる。	
M 24-S B 6		府中DC化計画
図面 26, 図版 20・21		
グリッド	M 24 (9~11, 8~10) 区。	
規 模	桁行 3 間 (4.90 m) × 梁行 2 間 (4.00 m)。	
方 向	南北棟。建物方位は真北に対して 5° 東へ偏る。	
柱 間 寸 法	桁行東側から 1.6・1.8・1.5 m 不等、梁行 2.00 m 等間。	
掘り方プラン	楕円形・隅丸長方形・L字連結形 (断面: 皿形・逆台形)。	
掘り方規模	長軸 27~102 × 短軸 44~64 × 深さ 17~45 cm。	
備 考	P-1-3 が搅乱に切られる。	
M 24-S B 7		府中DC化計画
図面 27, 図版 22		
グリッド	M 24 (11~13, 9・10) 区。	
規 模	南北 2 間 (3.90 m) × 東西 2 間 (3.80 m)。	
方 向	建物方位は真北に対して 12° 東へ偏る。	
柱 間 寸 法	南北 1.90 m 等間、東西 1.85 m 等間。	
掘り方プラン	楕円形 (断面: 逆台形)。	
掘り方規模	長軸 36~54 × 短軸 32~40 × 深さ 16~38 cm。	
備 考	P-1-1 が M 24-S K 57 に切られる。	

別表3

柵跡一覧表

M 24 - S A 1		府中DC化計画
図面28, 図版23		
グリッド	M 24 (7, 11~14) 区。	
規 模	南北13間 (9.80 m)。	
方 向	南北柵。柵方位は真北に対して8° 西へ偏る。	
柱 間 寸 法	北側から 0.80・1.00・0.80・1.45・0.90・0.55・1.35・0.65・0.60・0.35・0.65・0.40 m不等間。	
掘り方プラン	楕円形 (断面: 逆台形・播鉢形)。	
掘り方規模	長軸 20~84 × 短軸 15~50 × 深さ 9~46 cm。	
備 考	P-9がM 24 - S I 126 を切る。	
M 24 - S A 2		府中DC化計画
図面29, 図版23		
グリッド	M 24 (7・8, 11~14) 区。	
規 模	南北6間 (9.80 m)。	
方 向	南北柵。柵方位は真北に対して11.5° 西へ偏る。	
柱 間 寸 法	北側から 0.60・1.50・0.50・0.45・0.90 m不等間。	
掘り方プラン	楕円形・不定長円形 (断面: 皿形)。	
掘り方規模	長軸 30~206 以上 × 短軸 27~56 × 深さ 10~28 cm。	
備 考	P-1~4が搅乱に切られる。	
M 24 - S A 3		府中DC化計画
図面29, 図版23		
グリッド	M 24 (9・10, 12・13) 区。	
規 模	東西3間 (3.80 m)。	
方 向	東西柵。柵方位は真東に対して11° 北へ偏る。	
柱 間 寸 法	1.15 m等間。	
掘り方プラン	楕円形 (断面: U字形)。	
掘り方規模	長軸 39~64 × 短軸 36~59 × 深さ 22~37 cm。	
備 考	P-3がM 24 - S B 3 P-4-1を切る。	
M 24 - S A 4		府中DC化計画
図面28, 図版23		
グリッド	M 24 (13・14, 6~8) 区。	
規 模	南北2間 (4.50 m)。	
方 向	南北柵。柵方位は真北に対して10° 東へ偏る。	
柱 間 寸 法	2.25 m等間。	
掘り方プラン	楕円形・隅丸方形 (断面: 逆台形)。	
掘り方規模	長軸 58~71 × 短軸 33~57 × 深さ 15~28 cm。	
備 考	掘立柱建物跡の可能性あり。	

別表 4

土坑一覧表

No.	地区・グリッド	図面 図版	プラン(平面・断面形)・規模	備考
M 24 - SK	33	府中DC化計画 M 24 (12・13, 17・18) 区	図面 30 図版 24	長方形・皿形。 南北 456 × 東西 86 cm。 深さ 15 cm。
	34	府中DC化計画 M 24 (11・12, 16・17) 区	図面 30 図版 24	長円形?・皿形。 南北 67 × 東西 348 cm 以上。 深さ 13 cm。
	35	府中DC化計画 M 24 (12, 15・16) 区	図面 30 図版 24	長方形?・皿形。 南北 160 以上 × 東西 64 cm。 深さ 5 cm。
	36	府中DC化計画 M 24 (12, 13～15) 区	図面 30 図版 24	長方形・皿形。 南北 448 × 東西 78 cm。 深さ 26 cm。
	37	府中DC化計画 M 24 (11, 14・15) 区	図面 30 図版 24	隅丸長方形・皿形。 南北 432 × 東西 59 cm。 深さ 32 cm。
	38	府中DC化計画 M 24 (12, 17) 区	図面 30 図版 24	隅丸長方形・皿形。 南北 160 × 東西 60 cm。 深さ 16・35 cm。
	39	府中DC化計画 M 24 (7・8, 11) 区	図面 30 図版 25	類円形・皿形。 径 78 cm。 深さ 12 cm。
	40	府中DC化計画 M 24 (13, 12) 区	図面 30 図版 25	円形?・皿形。 径 67 cm 以上。 深さ 13 cm 以上。
	41	府中DC化計画 M 24 (12, 12・13) 区	図面 30	不定長方形・皿形。 南北 241 × 東西 63 cm。 深さ 23 cm。
	42	府中DC化計画 M 24 (12・13, 11・12) 区	図面 30 図版 25	隅丸長方形・皿形。 南北 70 × 東西 190 cm。 深さ 24 cm。
	43	府中DC化計画 M 24 (10, 13) 区	図面 30 図版 25	橢円形・皿形。 長軸 100 × 短軸 80 cm。 深さ 18 cm。
	44	府中DC化計画 M 24 (6・7, 5) 区	図面 31 図版 25	不定橢円形・逆台形。 長軸 94 × 短軸 64 cm。 深さ 60 cm。
	45	府中DC化計画 M 24 (7, 5) 区	図面 31 図版 25	不定形・不整形。 長軸 180 以上 × 短軸 100 cm。 深さ 34 cm。
	46	府中DC化計画 M 24 (6, 4・5) 区	図面 31 図版 25	不定形・不整形。 長軸 118 以上 × 短軸 129 cm。 深さ 45 cm。

別表 4-2

No.	地区・グリッド	図面 図版	プラン(平面・断面形)・規模	備考
M 24 - SK	47 府中DC化計画 M 24 (9, 5) 区	図面 31 図版 25	楕円形・舟形。 長軸 108 以上 × 短軸 94 cm。 深さ 34 cm。	古代土坑。 ピットに切られる。
	48 府中DC化計画 M 24 (8・9, 13) 区	図面 31 図版 26	楕円形・舟形。 長軸 128 × 短軸 92 cm。 深さ 37 ~ 48 cm。	古代土坑。 覆土の分析を行う。 第4章参照。
	49 府中DC化計画 M 24 (12・13, 16) 区	図面 31 図版 26	長方形・箱形。 南北 206 × 東西 157 cm。 深さ 42 ~ 76 cm。	古代土坑。 ピット 1 基含む。
	50 府中DC化計画 M 24 (11, 13) 区	図面 31 図版 26	楕円形・舟形。 長軸 113 × 短軸 105 cm。 深さ 29 cm。	古代土坑。 ピット 1 基含む。
	51 府中DC化計画 M 24 (10・11, 4) 区	図面 31 図版 26	隅丸長方形?・皿形。 南北 70 以上 × 東西 354 cm。 深さ 10 ~ 25 cm。	古代土坑。南側は調査 地区外。ピット 2 基含 む。搅乱・上層ピット に切られる。
	52 府中DC化計画 M 24 (13, 11・12) 区	図面 31	帶状・皿形。 南北 180 以上 × 東西 60 cm。 深さ 9 cm。	近世土坑。 南北を搅乱に切られる。
	53 府中DC化計画 M 24 (13, 13) 区	図面 31 図版 26	方形?・逆台形。 南北 76 × 東西 34 cm 以上。 深さ 25 cm。	古代土坑。 東側は調査地区外。
	54 府中DC化計画 M 24 (12・13, 10・11) 区	図面 32 図版 27	隅丸長方形・逆台形。 南北 189 × 東西 136 cm。 深さ 42 cm。	古代土坑。
	55 府中DC化計画 M 24 (13, 16・17) 区	図面 32 図版 27	隅丸長方形・箱形。 南北 217 × 東西 124 cm。 深さ 56 cm。	古代土坑。
	56 府中DC化計画 M 24 (12, 10・11) 区	図面 32	楕円形?・皿形。 長軸 50 以上 × 短軸 32 cm 以上。 深さ 7 cm。	近世土坑。 搅乱に切られる。
	57 府中DC化計画 M 24 (11・12, 9) 区	図面 32 図版 27	楕円形・皿形。 長軸 111 × 短軸 102 cm。 深さ 24 cm。	古代土坑。M 24 - S B 7 の P - 1 - 1 を切る。
	58 府中DC化計画 M 24 (13, 9) 区	図面 32 図版 27	類円形・皿形。 径 106 cm。 深さ 18 cm。	古代土坑。
	59 府中DC化計画 M 24 (8・9, 9) 区	図面 32 図版 28	楕円形・皿形。 長軸 106 以上 × 短軸 93 cm。 深さ 14 cm。	古代土坑。 搅乱に切られる。
	60 府中DC化計画 M 24 (6・7, 5・6) 区	図面 32 図版 28	楕円形・逆台形。 長軸 111 × 短軸 108 cm。 深さ 27 cm。	近世土坑。
	61 府中DC化計画 M 24 (9, 9) 区	図面 32 図版 28	楕円形・箱形。 長軸 100 × 短軸 95 cm。 深さ 30 cm。	古代土坑。
	62 府中DC化計画 M 24 (9・10, 6) 区	図面 32 図版 28	不定形・舟形。 長軸 102 × 短軸 79 cm。 深さ 12 ~ 48 cm。	古代土坑。 ピット 10 基含む。 ピットに切られる。

別表 5

溝一覧表

M 24 - S D 13	府中DC化計画
図面 33, 図版 29	
グリッド	M 24 (9~13, 18~19) 区。
偏方向	真東に対して 16° 北偏して走る。
断面形状	皿形。
規模	長さ 11.12 m 以上、幅 96~132・深さ 19~32 cm。
備考	攪乱・ピットに切られる。東側は調査地区外。
M 24 - S D 14	府中DC化計画
図面 33, 図版 29	
グリッド	M 24 (11~13, 18) 区。
偏方向	真東に対して 1.5° 南偏して走る。
断面形状	逆台形。
規模	長さ 5.83 m 以上、幅 26~40・深さ 12~24 cm。
備考	M 24 - S K 33 に切られる。東側は調査地区外。西側は途絶する。

別表 6

その他の遺構一覧表

No.	地区・グリッド	図面 図版	プラン(平面・断面形)・規模	備考
M 24 - S X	4 府中DC化計画 M 24 (8, 12~13) 区	図面 34 図版 30	隅丸長方形・逆台形。 南北 70 × 東西 42 cm。 深さ 22 cm。	近・現代土坑。
	5 府中DC化計画 M 24 (6~8, 10~14) 区	図面 34 図版 30	楕円形、不定長方形・皿形 × 21 穴。 南北 32~252 × 東西 22~54 cm。 深さ 6~20 cm。	近世竪。 攪乱に切られる。
	6 府中DC化計画 M 24 (9~11, 12~14) 区	図面 34 図版 30	楕円形、不定長方形・皿形 × 19 穴。 南北 20~114 × 東西 10~42 cm。 深さ 6~21 cm。	近世竪。 攪乱に切られる。
	7 府中DC化計画 M 24 (11~13, 11~13) 区	図面 34 図版 30	楕円形、不定長方形・皿形 × 17 穴。 南北 26~182 × 東西 16~(120) cm。 深さ 6~22 cm。	近世竪。 攪乱に切られる。

別表 7

ピット(抜粹)一覧表

No.	地区・グリッド	図面	プラン(平面・断面形)・規模	備考
M 24 - P 3	013 府中DC化計画 M 24 (7, 12) 区	図面 35	楕円形・漏斗形。 長軸 48 × 短軸 40 cm。 深さ 58 cm。	古代ピット。 II層上で検出。
	022 府中DC化計画 M 24 (9, 11) 区	図面 35	楕円形・逆台形。 長軸 42 × 短軸 41 cm。 深さ 48 cm。	古代ピット。 II層上で検出。
	027 府中DC化計画 M 24 (9, 11) 区	図面 35	楕円形・逆台形。 長軸 40 × 短軸 37 cm。 深さ 18 cm。	古代ピット。 II層上で検出。
	034 府中DC化計画 M 24 (10, 12) 区	図面 35	楕円形・U字形。 長軸 42 × 短軸 37 cm。 深さ 30 cm。	古代ピット。 M 24 - P 3 - 067 を 切る。II層上で検出。
	045 府中DC化計画 M 24 (10, 13) 区	図面 35	楕円形・逆台形。 長軸 33 × 短軸 24 cm。 深さ 48 cm。	古代ピット。 II層上で検出。
	123 府中DC化計画 M 24 (11, 17・18) 区	図面 35	楕円形・筒形。 長軸 45 以上 × 短軸 36 cm。 深さ 55 cm。	古代ピット。 III層上で検出。 搅乱に切られる。
	171 府中DC化計画 M 24 (12・13, 16・17) 区	図面 35	不定形・漏斗形。 長軸 78 × 短軸 64 cm。 深さ 71 cm。	古代ピット。 III層上で検出。 M 24 - S B 5・S K 49・搅乱に切られる。
	372 府中DC化計画 M 24 (12, 12) 区	図面 35	類円形・逆台形。 径 22 ~ 23 cm。 深さ 16 cm。	古代ピット。 III層上で検出。
	466 府中DC化計画 M 24 (11, 11) 区	図面 35	類円形・逆台形。 径 34 cm。 深さ 24 cm。	古代ピット。 III層上で検出。
	571 府中DC化計画 M 24 (7, 12) 区	図面 35	不定形・逆台形? 長軸 92 以上 × 短軸 52 cm 以上。 深さ 44 cm。	古代ピット。III層上 で検出。M 24 - S I 126・P 3 - 582・搅乱 に切られる。

別表 7-2

No.		地区・グリッド	図面	プラン(平面・断面形)・規模	備考
M 24 - P 3	582	府中DC化計画 M 24 (7, 12) 区	図面 35	隅丸方形・逆台形。 一辺 52 cm。 深さ 45 cm。	古代ピット。III層上で検出。M 24 - P 3 - 571 を切る(または同系の遺構)。攪乱に切られる。
	663	府中DC化計画 M 24 (13, 9) 区	図面 35	楕円形・筒形。 長軸 44 × 短軸 38 cm。 深さ 57 cm。	古代ピット。 III層上で検出。M 24 - P 3 - 667 を切る。
	667	府中DC化計画 M 24 (13, 9) 区	図面 35	楕円形?・舟形? 長軸 26 以上 × 短軸 22 cm。 深さ 9 cm。	古代ピット。III層上で検出。M 24 - P 3 - 663 に切られる。
	697	府中DC化計画 M 24 (13, 8) 区	図面 35	楕円形・U字形。 長軸 43 × 短軸 35 cm。 深さ 39 cm。	古代ピット。III層上で検出。M 24 - P 3 - 698 を切る。
	698	府中DC化計画 M 24 (13, 8) 区	図面 35	楕円形・U字形。 長軸 52 × 短軸 35 cm。 深さ 33 cm。	古代ピット。III層上で検出。M 24 - P 3 - 697 に切られる。
	722	府中DC化計画 M 24 (9, 10) 区	図面 35	類円形・U字形。 径 45 cm。 深さ 42 cm。	古代ピット。 III層上で検出。
	851	府中DC化計画 M 24 (7, 3・4) 区	図面 35	長円形・逆台形。 長軸 48 × 短軸 31 cm。 深さ 35 cm。	近世ピット。III層上で検出。M 24 - S I 129 を切る。
	854	府中DC化計画 M 24 (8, 4) 区	図面 35	類円形・筒形。 径 45 ~ 46 cm。 深さ 52 cm。	古代ピット。 III層上で検出。
	942	府中DC化計画 M 24 (10, 6) 区	図面 35	類円形・逆台形? 径 38 cm。 深さ 42 cm。	古代ピット。 III層上で検出。M 24 - P 3 - 943・944 との連結ピット。 攪乱に切られる。
	943	府中DC化計画 M 24 (10, 6) 区	図面 35	楕円形・筒形。 長軸 47 × 短軸 36 cm。 深さ 51 cm。	古代ピット。III層上で検出。M 24 - P 3 - 942・944 との連結ピット。
	944	府中DC化計画 M 24 (10, 6) 区	図面 35	楕円形・逆台形? 長軸 36 以上 × 短軸 18 cm 以上。 深さ 31 cm 以上。	古代ピット。III層上で検出。M 24 - P 3 - 942・943 との連結ピット。
	1010	府中DC化計画 M 24 (7, 10) 区	図面 35	類円形・筒形。 径 21 ~ 23 cm。 深さ 45 cm。	古代ピット。III層上で検出。M 24 - S I 132 を切る。
	1028	府中DC化計画 M 24 (6, 10) 区	図面 35	楕円形・逆台形。 長軸 52 × 短軸 40 cm。 深さ 25 cm。	古代ピット。III層上で検出。M 24 - S I 132 を切る。
	1044	府中DC化計画 M 24 (9, 10) 区	図面 35	類円形・U字形。 径 36 cm。 深さ 46 cm。	古代ピット。 III層上で検出。
	1061	府中DC化計画 M 24 (6・7, 13・14) 区	図面 35	楕円形・逆台形。 長軸 54 × 短軸 50 cm。 深さ 25 cm。	古代ピット。III層上で検出。M 24 - S I 126 を切る。

別表 8

土器観察表

番号	グリッド	遺構	器種 器型	法量	特徴	色調・質・胎土	残量 出土位置・図
1001	M 24	S I 126	土師器 壺	13.6 3.2 7.0	体部内面は、横ナデ・ナデ。外面口縁部は、横ナデ。体・底部ヘラ削り。全体に煤付着。	赤褐色。やや堅い。黒色微砂粒・金雲母多量、白色砂少量。	全体3/4残存。覆土。図面1・37。
1002	M 24	S I 126	土師器 甕	22.4 (8.2) —	口縁部は、横ナデ・指圧。胴部は、内面がナデ、外面がヘラ削り。	橙色。軟かい。大砂粒・小砂粒少量、雲母やや多量。	口縁・肩部1/8残存。竈。図面1・37。
1003	M 24	S I 126	須恵器 瓶	10.4 (3.9) —	口縁・頸部は、横ナデ。口縁上部内面に濃緑色の自然釉付着。	灰白色。堅い。大砂粒(～3mm)・小砂粒少量、微砂粒やや多量。	口縁・頸部1/5残存。覆土。図面37。
1004	M 24	S I 127	土師器 甕	20.8 (14.6) —	口縁部は横ナデ。胴部は、内面が刷毛状工具・ナデ、外面はヘラ削り。	外面黄褐色、明赤褐色、赤褐色。やや堅い。小砂粒多量、赤色スコリア少量、雲母微量。	口縁・胴上部3/4強残存。周溝上。図面2・37。
1005	M 24	S I 127	須恵器 甕	— (7.1) —	頸部は、ナデ。肩部は、内面がヘラナデ・指圧、外面が叩き目・ナデ。1006と同一個体の可能性あり。	灰色。堅い。大砂粒(～5mm)微量、小砂粒・微砂粒やや多量。	頸・肩部1/4弱残存。床上。図面2・37。
1006	M 24	S I 127	須恵器 甕	— (8.8) 16.0	胴下～底面は、内面がナデ・指圧、外面が叩き目・ナデ、外底面はヘラ削り。内底部に降灰物付着。1005と同一個体の可能性あり。	灰色。堅い。大砂粒(～0.45mm)少量、小砂粒・微砂粒やや多量。	胴下・底部1/4弱残存。床面。図面2・37。
1007	M 24	S I 127	須恵器 甕	— (4.9) 16.4	底部は、外面がヘラ削り、内面がナデ。外底面はヘラ削り。底面にヘラ疵あり。内底面は粘土塊・降灰物付着。	灰色。堅い。大砂粒(～3.5mm)少量、微砂粒やや多量。	胴下・底部1/4弱残存。床面。図面2・38。
1008	M 24	S I 127	須恵器 長頸瓶	— (10.8) 9.4	胴部は、内外面がロクロ調整・ヘラ削り・ナデ。外底面はロクロ調整・全面ヘラ削り。内底部降灰物付着。	灰色。堅い。小砂粒少量、微砂粒やや多量、白色物質微量。	胴部1/8弱、底部5/6残存。周溝・覆土。図面2・38。
1009	M 24	S I 127	弥生土器 甕	— (3.5) 7.8	底部は内面が刷毛状工具・ナデ、外面はヘラ削り・ナデ、底面に木葉痕。一部煤が付着。	にぶい橙色、橙色。やや堅い。微小粒・雲母微量。	底部1/2強残存。竈。図面38。
1010	M 24	S I 127	弥生土器 壺	— (3.3) —	底部～底面は、外面がヘラミガキ、内面はナデ。外面の一部に煤付着。	内面にぶい黄褐色、外面赤褐色。やや堅い。大砂粒(～2.0mm)微量、小砂粒・微小粒・雲母少量。	底部少量残存。周溝。図面38。

別表 8-2

番号	グリッド	遺構	器種 器型	法量	特徴	色調・質・胎土	残量 出土位置・図
1011	M 24	S I 128	土師器 壺	11.2 (3.3) —	口縁部は横ナデ。体部は外面がヘラ削り、内面がナデ・指頭。外面に煤付着。	内面橙色、外面にぶい褐色。やや堅い。小砂粒・微小砂粒・雲母微量。	口縁・体部 1/4 弱残存、底部欠損。SW区覆土。図面 38。
1012	M 24	S I 128	土師器 壺	12.3 3.8 8.3	口縁部は横ナデ。体部外内面は、指圧・ナデ。外面体下部・底部はヘラ削り。全体に煤付着。	にぶい黄橙色。やや堅い。小砂粒・微小砂粒・雲母微量。	口縁・体部 1/2 強、底部 6/7 残存。炉炭土中。図面 6・38。
1013	M 24	S I 128	土師器 壺	12.2 3.5 8.6	口縁部は横ナデ。体・底部は、外面がヘラ削り、内面がナデ・指圧・暗文。内面に煤付着。	にぶい赤褐色。やや堅い。小砂粒・微小砂粒少量、雲母微量。	口縁部 1/5 欠損。体・底部完形。竈A。図面 5・38。
1014	M 24	S I 128	土師器 甕	21.8 (11.1) —	口縁部は横ナデ。胴部は、内面が刷毛状具・ナデ、外面がヘラ削り。	明赤褐色。軟かい。大砂粒(～3mm)少量、小砂粒・微小砂粒少量、黒雲母少量。	口縁・胴上部 1/4 残存。竈A。図面 5・38。
1015	M 24	S I 128	土師器 甕	20.5 (7.8) —	口縁部は横ナデ。胴部は、内面が刷毛状具・ナデ、外面がヘラ削り。	暗褐色。やや堅い。小砂粒・微小砂粒少量、雲母微量。	口縁部 1/10、頸部 1/4 残存。覆土。図面 4・38。
1016	M 24	S I 128	土師器 甕	17.8 (8.6) —	口縁部は横ナデ・指圧。胴部は、内面がナデ、外面がヘラ削り。	内面明赤褐色、外面にぶい黄橙色・灰赤色。やや堅い。小砂粒・微小砂粒少量、雲母微量。	口縁・胴上部 1/8 残存。覆土。図面 4・38。
1017	M 24	S I 128	土師器 甕	— (4.3) 4.0	胴下～底部は、内面が刷毛状具・ナデ、外面がヘラ削り。全体に煤付着。	褐色。軟かい。小砂粒・微小砂粒少量、雲母少量。	胴下・底部 1/4 残存。焼土面。図面 38。
1018	M 24	S I 128	土師器 台付甕	— (2.0) —	胴下部は、内面が刷毛状具・ナデ、外面がナデ。台上部は内面がナデ。全面に煤付着。	内面にぶい黄橙色、外面赤褐色。軟かい。小砂粒・微小砂粒・雲母やや多量。	台接合部完形。床面下NW区。図面 38。
1019	M 24	S I 128	須恵器 盤	15.4 2.4 11.8	ロクロ調整。底部は糸切り後、全面ヘラ削り。	灰色、体芯暗灰色。堅い。大砂粒(～3mm)微量、小砂粒少量。	口縁部 1/4 欠損。体・底部完形。覆土。図面 4・39。
1020	M 24	S I 128	須恵器 壺	14.0 3.1 8.8	ロクロ調整。底部は糸切り後、全面ヘラ削り。	灰色。堅い。小砂粒微量、白色物質多量。	全体 1/4 弱残存。覆土。図面 4・39。
1021	M 24	S I 128	須恵器 壺	12.1 3.4 6.6	ロクロ調整。底部は糸切り後、全面ヘラ削り。	青灰色。堅い。大砂粒(～2mm)微量、小砂粒少量、白色物質やや多量。	口縁・体部 1/4 強、底部 1/2 弱残存。床面。図面 4・39。
1022	M 24	S I 128	須恵器 壺	— (1.1) 8.0	ロクロ調整。底部は糸切り後、全面ヘラ削り。内底面にヘラ記号Aあり。外面下部に降灰付着。	灰白色。堅い。大砂粒(～2mm)微量、小砂粒少量、白色物質微量。	底部 1/4 強残存。掘り方。図面 4・39。
1023	M 24	S I 128	須恵器 壺	— (1.3) 7.8	ロクロ調整。底部は糸切り後、全面ヘラ削り。	灰白色。堅い。大砂粒(～2mm)・小砂粒微量、白色物質少量。	底部 1/2 弱残存。炉内。図面 6・39。

別表 8-3

番号	グリッド	遺構	器種 器型	法量	特徴	色調・質・胎土	残量 出土位置・図
1024	M 24	S I 128	須恵器 壊	— (1.0) 7.6	ロクロ調整。底部は糸切り後、全面へラ削り。	灰白色。 やや軟かい。小砂粒少量、長石微量、白色物質少量。	底部完形。 P-1内。 図面6・39。
1025	M 24	S I 128	須恵器 壊	— (0.9) 7.6	ロクロ調整。底部は糸切り後、全面へラ削り。内底面に重ね焼き粘土付着。全面に煤付着。	灰白色、青灰色。 堅い。大砂粒(～4mm)・小砂粒少量、白色物質微量。	底部完形。 竈B上。 図面5・39。
1026	M 24	S I 128	須恵器 壊	— (2.0) 7.4	ロクロ調整。底部は糸切り後、外周へラ削り。	灰色。堅い。 大砂粒(～2mm)・小砂粒微量、白色物質やや多量。	底部1/4強残存。 覆土。 図面4・39。
1027	M 24	S I 128	須恵器 壊	— (2.7) 7.0	ロクロ調整。底部は糸切り後、全面へラ削り。	青灰色。 堅い。 小砂粒微量、白色物質多量。	体下・底部1/4残存。 覆土。 図面4・39。
1028	M 24	S I 128	須恵器 壊	13.0 3.8 7.8	ロクロ調整。底部は糸切り後、外周へラ削り。	青灰色、灰色。 堅い。 小砂粒少量。	口縁・体部1/6、 底部1/4残存。 周溝。 図面4・39。
1029	M 24	S I 128	須恵器 壊	12.8 3.4 8.4	ロクロ調整。底部は糸切り後、外周へラ削り。	灰色。堅い。 大砂粒(～3mm)微量、小砂粒・微小砂粒少量、白色物質多量。	全体1/3弱残存。 覆土。 図面4・39。
1030	M 24	S I 128	須恵器 壊	12.5 3.5 7.6	ロクロ調整。底部は糸切り後、外周へラ削り。	青灰色、内底部暗青灰色。堅い。 大砂粒(～4mm)微量、小砂粒少量、白色物質多量。	口縁・体部1/4強、 底部1/2残存。 覆土。 図面4・39。
1031	M 24	S I 128	須恵器 壊	12.0 3.5 7.2	ロクロ調整。底部は糸切り後、外周へラ削り。	灰色。 堅い。 大砂粒(～2mm)微量、小砂粒少量。	全体1/4弱残存。 ピット。 図面4・39。
1032	M 24	S I 128	須恵器 壊	11.5 3.2 6.6	ロクロ調整。底部は糸切り後、外周へラ削り。口縁部に重ね焼き痕あり。	灰色。堅い。 大砂粒(～2mm)・小砂粒・微小砂粒少量。	全体1/4強残存。 P-1内。 図面6・39。
1033	M 24	S I 128	須恵器 壊	14.0 3.5 8.6	ロクロ調整。底部は、へラ削り。口縁部に重ね焼き痕あり。	口縁灰色、体底部 灰白色。やや軟かい。 小砂粒・微小砂粒少量。	口縁・体部1/6、 底端部微少残存。床面。 図面4・39。
1034	M 24	S I 128	須恵器 壊	12.8 3.4 7.6	ロクロ調整。底部は外周または全面へラ削り。	にぶい黄橙色。 堅い。大砂粒(～3mm)・小砂粒微量、白色物質少量。	口縁・体部1/4弱、 底端部微少残存。覆土。 図面6・39。
1035	M 24	S I 128	須恵器 壊	13.3 3.8 8.2	ロクロ調整。底部は、外周または全面へラ削り。	灰白色。堅い。 大砂粒(～2mm)・長石微量、小砂粒少量。	口縁・体部1/4弱、 底部少量残存。床面。 図面4・39。
1036	M 24	S I 128	須恵器 壊	13.0 (3.3) —	ロクロ調整。	灰白色。やや軟かい。 大砂粒(～3mm)・小砂粒微量、白色物質少量。	口縁・体部1/4残存。 P-1内。 図面6・40。
1037	M 24	S I 128	須恵器 壊	11.6 (3.1) —	ロクロ調整。体下部へラ削り。口縁部に重ね焼き痕・自然釉付着。	灰色。 堅い。 小砂粒・微小砂粒少量。	口縁・体部1/4残存。 覆土。 図面4・40。

別表 8-4

番号	グリッド	遺構	器種 器型	法量	特徴	色調・質・胎土	残量 出土位置・図
1038	M 24	S I 128	須恵器 壺	— (0.7) 8.0	ロクロ調整。底部は糸切り後、外周へラ削り。	灰色。堅い。 大砂粒(～3mm) 微量、小砂粒少量、 白色物質少量。	底部1/4残存。 床面。 図面4・40。
1039	M 24	S I 128	須恵器 壺	— (2.6) 7.7	ロクロ調整。底部は糸切り後、外周へラ削り。	灰白色。 堅い。 小砂粒・微砂粒微量。	体部1/4、底部 2/3残存。 竈B覆土。 図面40。
1040	M 24	S I 128	須恵器 壺	— (1.7) 7.6	ロクロ調整。底部は糸切り後、外周へラ削り。	灰白色。 堅い。 微小砂粒少量。	体下・底部1/2 残存。 周溝。 図面4・40。
1041	M 24	S I 128	須恵器 壺	— (1.7) 7.6	ロクロ調整。底部は糸切り後、外周へラ削り。	にぶい赤褐色、褐 灰色。堅い。 大砂粒(～4mm) 微量、小砂粒・微 小砂粒少量、白色 物質多量。	底部1/4強残存。 覆土。 図面4・40。
1042	M 24	S I 128	須恵器 壺	— (1.3) 7.3	ロクロ調整。底部は糸切り後、外周へラ削り。	明青灰色。堅い。 大砂粒(～4mm)・ 長石微量、小砂粒 少量、白色物質微量。	底部完形。 覆土。 図面4・40。
1043	M 24	S I 128	須恵器 壺	— (1.0) 7.3	ロクロ調整。底部は糸切り後、外周へラ削り。外底面に煤付着。	灰白色。堅い。 大砂粒(～3mm)・ 小砂粒微量、白色 物質微量。	底部完形。 覆土。 図面4・40。
1044	M 24	S I 128	須恵器 壺	— (1.0) 7.2	ロクロ調整。底部は糸切り後、外周へラ削り。外底面に煤付着。	青灰色。堅い。 小砂粒・微砂粒少 量、長石微量。	底部1/2残存。 覆土。 図面4・40。
1045	M 24	S I 128	須恵器 壺	15.4 5.8 8.8	ロクロ調整。底部は糸切り後、外周へラ削り。	青灰色。堅い。 大砂粒(～3mm) 少量、小砂粒・微 小砂粒やや多量。	口縁・体部1/2 弱、底部完形。 炉炭土中。 図面6・40。
1046	M 24	S I 128	須恵器 壺	15.8 (5.2) —	ロクロ調整。体下部は、へラ削り。	灰白色。 堅い。 小砂粒少量。	口縁・体部1/8 残存。 P-1内。 図面6・40。
1047	M 24	S I 128	須恵器 蓋	18.7 3.9 —	ロクロ調整。天井部はへラ削り。 口縁部に重ね焼き痕あり。	暗灰黄色、にぶい 黄褐色。 堅い。 大砂粒(～4mm) 微量、小砂粒少量。	口縁部1/12欠 損の他、完形。 覆土。 図面4・40。
1048	M 24	S I 128	須恵器 蓋	18.4 3.1 —	ロクロ調整。天井部はへラ削り。 口縁部に重ね焼き。	灰白色。 やや軟かい。 大砂粒(～3mm)・ 小砂粒少量。	口縁部1/24、天 井部1/4、つま み残存。 覆土。 図面4・40。
1049	M 24	S I 128	須恵器 蓋	14.2 2.8 —	ロクロ調整。天井部はへラ削り。 口縁部に重ね焼き痕(降灰付着) あり。	灰色。堅い。 大砂粒(～2mm) 微量、小砂粒・微 小砂粒少量、白色 物質やや多量。	口縁部1/2弱欠 損の他、完形。 竈A。 図面5・40。
1050	M 24	S I 128	須恵器 蓋	— (1.8) —	ロクロ調整。天井部はへラ削り。 体部内面に重ね焼き痕(粘土)・ 煤付着。	灰色。堅い。 大砂粒(～3mm)・ 小砂粒微量、白色 物質微量。	天井部1/4残 存、つまみ欠損。 掘り方。 図面4・40。

別表 8-5

番号	グリッド	遺構	器種 器型	法量	特徴	色調・質・胎土	残量 出土位置・図
1051	M 24	S I 128	須恵器 蓋	— (1.5) —	ロクロ調整。天井部はヘラ削り。 体部内面に重ね焼き粘土付着。	灰色。堅い。 大砂粒(～4mm)・ 小砂粒微量、微小 砂粒少量、白色物 質微量。	天井部1/4弱残 存、つまみ欠損。 P-1内。 図面6・40。
1052	M 24	S I 128	須恵器 蓋	— (2.0) —	ロクロ調整。天井部はヘラ削り。	青灰色。 堅い。 大砂粒(～2mm)・ 小砂粒微量、白色 物質多量。	天井部、つまみ 1/4残存。 床面。 図面4・40。
1053	M 24	S I 128	須恵器 甕	26.6 (5.5) —	口縁部は横ナデ。 外面の一部に煤付着。	灰色。堅い。 大砂粒(～2mm) 微量、小砂粒・微 小砂粒少量。	口縁・頸上部 1/8強残存。 覆土。 図面4・40
1054	M 24	S I 129	須恵器 壺	12.2 4.1 5.5	ロクロ調整。底部は糸切り後、 再調整施さず。	灰色。 堅い。 小砂粒・微小砂粒 少量。	口縁部1/8、体 部1/4弱、底部 1/4弱残存。 覆土。 図面8・41。
1055	M 24	S I 129	須恵器 壺	— (1.3) 5.8	ロクロ調整。底部は糸切り後、 再調整施さず。	灰白色。 堅い。 小砂粒少量。	底部1/2強残存。 覆土。 図面8・41。
1056	M 24	S I 129	須恵器 壺	17.0 (5.6) —	ロクロ調整。	内面にぶい褐色、 外面灰色。堅い。 小砂粒微量、白色 物質多量。	口縁・体部1/8 強残存。 覆土。 図面8・41。
1057	M 24	S I 129	須恵器 壺	15.0 (4.8) —	ロクロ調整。口縁部と体部の一 部に煤付着。	灰白色。 堅い。 小砂粒・微小砂粒 微量。	口縁・体部1/8 残存。 覆土。 図面8・41。
1058	M 24	S I 129	須恵器 壺	— (4.8) —	ロクロ調整。内面に煤付着する。	黄灰色。堅い。 大砂粒(～2mm)・ 小砂粒・長石・橙 色スコリア微量。	口縁・体部少量 残存。 NE区覆土。 図面41。
1059	M 24	S I 129	土師質土器 壺	11.8 3.55 5.8	ロクロ調整。底部は糸切り後、 再調整施さず。	体・底部橙色、口 縁部褐色。堅い。 大砂粒(～5mm)・ 小砂粒少量。	口縁・体部1/4、 底部1/2残存。 覆土。 図面8・41。
1060	M 24	S I 129	土師質土器 壺	— (1.4) 7.0	ロクロ調整。底部は糸切り後、 再調整を施さず。 内底面に、放射状暗文？2条。	にぶい赤褐色。 堅い。大砂粒(～ 3mm)・小砂粒少 量、白色物質多量。	底部1/4強残存。 覆土。 図面8・41。
1061	M 24	S I 129	土師質土器 壺	— (2.5) 6.8	ロクロ調整。 底部は糸切り後、再調整施さず。	にぶい黄色。堅い。 大砂粒(～2mm)・ 小砂粒・白色物質 少量。	体部少量、底部 1/6弱残存。 NE区覆土。 図面41。
1062	M 24	S I 129	土師質土器 壺	— (2.7) 6.6	ロクロ調整。底部は糸切り後、 再調整施さず。	橙色、灰白色。堅い。 大砂粒(～2mm)・ 小砂粒・長石微量。	体下部底1/4、 底部完形。 覆土。 図面8・41。
1063	M 24	S I 129	土師質土器 皿	— (2.2) 7.2	ロクロ調整。底部は糸切り後、 再調整施さず。	橙色、灰黄色。 堅い。 小砂粒微量。	体下・底部1/4 弱残存。 NW区覆土。 図面41。

別表 8-6

番号	グリッド	遺構	器種 器型	法量	特徴	色調・質・胎土	残量 出土位置・図
1064	M 24	S I 130	土師器 壺	15.0 3.0 10.4	口縁部は横ナデ。体・底部内面は、ナデ、外面は指圧・ヘラ削り。内面全体・口縁・外面体部にかけ、丹塗り。体部・底部外面の一部は、煤が激しく付着。	にぶい黄橙色、赤褐色。やや堅い。小砂粒・微小砂粒・黒雲母微量。	口縁部 1/6 欠損他、完形。ピット。図面 9・41。
1065	M 24	S I 130	土師器 壺	13.6 3.0 10.0	口縁部は横ナデ。体・底部内面は、ナデ、外面はヘラ削り。内面全体・口縁・外面体部にかけ、丹塗り。外底面に墨書。『田』のような部首確認。口縁部に煤付着。	にぶい黄橙色、明赤褐色。やや堅い。小砂粒・微小砂粒・雲母微量。	全体 5/6 残存。覆土。図面 9・41。
1066	M 24	S I 130	土師器 壺	13.6 3.4 9.4	口縁部は横ナデ。体・底部内面は、ナデ、外面はヘラ削り。内面全体・口縁・外面体部にかけ、丹塗り。特に内面は、煤が激しく付着。	にぶい黄橙色、明赤褐色。やや堅い。小砂粒・微小砂粒・雲母微量。	全体 2/5 残存。ピット周辺。図面 9・41。
1067	M 24	S I 130	土師器 壺	13.2 3.9 8.3	口縁部は横ナデ。体・底部内面は、ナデ、外面はヘラ削り。内面全体・口縁・外面体部にかけ、丹塗り。内面・外面・底面にかけ、部分的に煤が激しく付着。	にぶい黄橙色、明赤褐色。やや堅い。小砂粒・微小砂粒・雲母微量。	少量欠損他、完形。ピット・竈周辺。図面 9・11・41。
1068	M 24	S I 130	土師器 甕	— (7.0) 1.8	胴部は、内面が刷毛状具・ナデ、外面がヘラ削り。胴部外面中央に、煤が付着。口縁・胴上部は意図的に打ち欠いたとみられる。支脚に使用。	赤褐色。やや堅い。小砂粒・微小砂粒少量、雲母・白色物質微量。	胴下半・底部完形。竈。図面 11・41。
1069	M 24	S I 130	土師器 甕	— (13.5) —	胴部は、内面が刷毛状具・ナデ、外面がヘラ削り。胴部外面に、帶状の煤が付着。口縁・底部は意図的に打ち欠いたとみられる。支脚に使用。	明赤褐色。やや堅い。小砂粒・微小砂粒少量、雲母・白色物質微量。	胴部完形。竈。図面 11・41。
1070	M 24	S I 130	土師器 甕	21.0 30.2 6.0	口縁部は、ナデ。胴部は、内面が刷毛・ナデ、外面がヘラ削り。内外面の胴中央～下部は、煤激しく付着。	明赤褐色、にぶい赤褐色。軟かい。小砂粒・微小砂粒少量、雲母微量。	口縁部 1/3、胴部 2/3、底部 1/2 弱残存。竈。図面 11・41。
1071	M 24	S I 130	土師器 甕	23.8 (24.0) —	口縁部は、ナデ・指圧。胴・底部は、内面が刷毛・ナデ、外面がヘラ削り。内外面に煤付着。	にぶい赤褐色。軟かい。小砂粒・微小砂粒少量、雲母微量。	口縁部ほぼ全体、胴上・胴中央部 3/5、胴下部少量残存。竈。図面 9・11・42。
1072	M 24	S I 130	土師器 甕	23.8 (22.1) —	口縁部は、ナデ・指圧。胴部は、内面が刷毛・ナデ、外面がヘラ削り。内外面に煤付着。胴部外面に焼土（白色砂質粘土）付着。	明赤褐色、橙色。軟かい。小砂粒・微小砂粒・雲母微量。	口縁・胴上・胴中央部 2/5 残存。竈煙道内。図面 11・42。
1073	M 24	S I 130	土師器 甕	22.0 (22.5) —	口縁部は、ナデ・指圧。胴部は、内面が刷毛・ナデ、外面がヘラ削り。内外面に煤付着。胴部外面に焼土（白色砂質粘土）付着。	橙色、明赤褐色。やや堅い。小砂粒・微小砂粒・雲母微量。	口縁 4/5、胴中央部 5/6 残存。竈煙道内。図面 11・42。
1074	M 24	S I 130	土師器 甕	23.0 (28.3) —	口縁部は、ナデ・指圧。胴部は、内面が刷毛・ナデ、外面がヘラ削り。内外面に煤付着。胴部外面に焼土（白色砂質粘土）付着。	赤色。やや堅い。小砂粒・微小砂粒・黒雲母・白色物質微量。	口縁・胴部 5/6 残存。竈煙道内。図面 11・42。
1075	M 24	S I 130	土師器 甕	22.2 (27.9) —	口縁部は、ナデ・指圧。胴部は、内面が刷毛・ナデ、外面がヘラ削り。内外面に煤付着。胴部外面に焼土（白色砂質粘土）付着。	赤色、赤褐色。やや堅い。小砂粒・微小砂粒・雲母微量。	口縁・胴部 5/6 残存。竈煙道内。図面 11・42。

別表 8-7

番号	グリッド	遺構	器種 器型	法量	特徴	色調・質・胎土	残量 出土位置・図
1076	M 24	S I 131	土師器 甕	21.6 (7.7) —	口縁部は横ナデ・指頭。胴上部 は、内面が刷毛状具・ナデ、外 面はヘラ削り。胴上部外面に煤 激しく付着。	明赤褐色。 やや堅い。大砂粒 (~2mm) 小砂粒・ 白色物質少量、雲 母やや多量。	口縁・胴上部 1/8 残存。 覆土。 図面 12・43。
1077	M 24	S I 131	土師器 甕	21.2 (7.8) —	口縁部は横ナデ・指頭。胴上部 は、内面が刷毛状具・ナデ、外 面はヘラ削り。内外面に煤激し く付着。	橙色、にぶい橙色。 軟かい。 小砂粒少量、雲母 微量。	口縁部 1/4 弱、 胴上部 1/6 残存。 床面。 図面 12・43。
1078	M 24	S I 131	土師器 甕	— (1.9) 4.4	胴下~底部は、内面が刷毛状具・ ナデ、外面はヘラ削り。外面に 煤付着。	にぶい橙色、明赤 褐色。軟かい。 小砂粒・微小砂粒 少量、雲母微量。	胴最下部 1/2 弱、 底部残存。 覆土。 図面 12・43。
1079	M 24	S I 131	須恵器 壺	— (1.8) 10.0	ロクロ調整。底部は糸切り後、 全面ヘラ削り。 内面に一部煤付着。	灰白色。堅い。 大砂粒 (~5mm) 微量、小砂粒・微 小砂粒少量。	体下部少量、底 部 1/4 強残存。 覆土。 図面 12・43。
1080	M 24	S I 131	須恵器 壺	— (2.6) 8.0	ロクロ調整。底部は糸切り後、 全面ヘラ削り。 内面に降灰付着。	青灰色。堅い。 大砂粒 (~2mm) 小砂粒少量、白色 物質多量。	体下・底部 1/4 残存。 覆土。 図面 12・43。
1081	M 24	S I 131	須恵器 壺	13.2 3.5 8.2	ロクロ調整。底部は糸切り後、 手持ち外周ヘラ削り。口縁部に 重ね焼き痕(降灰付着)あり。	灰色。堅い。 大砂粒 (~6mm) 微量、小砂粒やや 多量、白色物質多 量。	口縁部少量、底 部ほぼ残存。 覆土。 図面 12・43。
1082	M 24	S I 131	須恵器 壺	12.4 3.5 7.0	ロクロ調整。底部は糸切り後、 外周ヘラ削り。	灰色。堅い。 大砂粒 (~4mm) 微量、小砂粒少量、 白色物質多量。	全体 1/2 強残存。 床面。 図面 12・43。
1083	M 24	S I 131	須恵器 壺	12.4 3.5 7.2	ロクロ調整。底部は糸切り後、 手持ち?外周または全面ヘラ削 り。口縁部に重ね焼き痕あり。	青灰色、口端部暗 青灰色。堅い。 小砂粒・微小砂粒 少量。	口縁・体部 1/8 強、底部少量残 存。竈上。 図面 13・43。
1084	M 24	S I 131	須恵器 壺	— (1.3) 7.2	ロクロ調整。底部は糸切り後、 外周ヘラ削り。 内外面に一部煤付着。	灰白色。 堅い。 大砂粒 (~5mm)・ 小砂粒・微小砂粒 微量。	体下部少量、底 部 1/2 弱残存。 竈上。 図面 13・43。
1085	M 24	S I 131	須恵器 壺	— (2.9) 8.4	ロクロ調整。底部は糸切り後、 外周または全面ヘラ削り。	青灰色。堅い。 小砂粒・微小砂粒 少量、白色物質少 量。	体下部少量、底 部 1/4 残存。 覆土。 図面 12・43。
1086	M 24	S I 131	須恵器 蓋	20.0 (3.2) —	ロクロ調整。天井部はヘラ削り。 口縁部に重ね焼き痕あり。	口縁端部青灰色、 体部灰白色。堅い。 小砂粒・微小砂粒 微量。	口縁・天井部 1/8 残存、つま み欠損。覆土。 図面 12・43。
1087	M 24	S I 131	須恵器 蓋	18.0 3.6 —	ロクロ調整。天井部はヘラ削り。 口縁部に重ね焼き痕あり。	灰色。堅い。 大砂粒 (~3mm) 微量、小砂粒・微 小砂粒少量、白色 物質やや多量。	口縁部 1/8、天 井部 1/4、つま み残存。 周溝。 図面 12・43。
1088	M 24	S I 131	須恵器 蓋	17.8 (2.4) —	ロクロ調整。天井部はヘラ削り。 口縁部に重ね焼き痕あり。	灰色。 堅い。 大砂粒 (~2mm) 微量、小砂粒少量、 白色物質やや多量。	口縁部 1/6、天 井・つまみ部分 欠損。 NE 区覆土。 図面 43。

別表 8-8

番号	グリッド	遺構	器種 器型	法量	特徴	色調・質・胎土	残量 出土位置・図
1089	M 24	S I 131	須恵器 蓋	— (3.0) —	ロクロ調整。天井部はヘラ削り。	青灰色。堅い。 大砂粒(～2mm) 微量、小砂粒・微 小砂粒少量、白色 物質多量。	天井部1/4、つ まみ残存、口縁 欠損。 覆土。 図面12・43。
1090	M 24	S I 131	須恵器 甕	— (4.9) —	口縁・頸部部は、横ナデ。 内面に自然釉・降灰物多量付着。	暗青灰色。 堅い。 小砂粒・微小砂粒 少量。	口縁・頸上部少 量残存。 覆土。 図面12・43。
1091	M 24	S I 132	土師器 甕	21.7 27.3 4.0	口縁部はナデ。胴～底部は、内 面が刷毛状具・ナデ、外面がヘ ラ削り。内外面に煤付着(特に 胴下半部～底部全面が激しく付 着)。	明赤褐色、にぶい 橙色。やや堅い。 小砂粒・微小砂粒・ 雲母少量、白色物 質微量。	口縁1/2、胴部 3/4、底部ほぼ残 存。竈A・棚状・ 床面。 図面14・16・ 18・44。
1092	M 24	S I 132	土師器 甕	20.8 25.6 4.8	口縁部は、ナデ・指圧。胴・底 部は、内面が刷毛・ナデ、外面 がヘラ削り。 外面に煤付着。	橙色、にぶい黄橙 色。軟かい。 小砂粒・微少砂粒 少量、雲母・白色 物質微量。	口縁・胴部1/2、 底部残存。 竈A上・棚状。 図面16・44。
1093	M 24	S I 132	土師器 甕	20.3 (20.5) —	口縁部は、ナデ・指圧。胴部は、 内面が刷毛・ナデ、外面がヘラ 削り。 内外面に煤付着。	明赤橙色、橙色。 軟かい。 小砂粒・微少砂粒・ 雲母少量。	口縁部ほぼ全体、 胴上部2/5残存。 竈A・床面。 図面14・16・ 18・44。
1094	M 24	S I 132	土師器 甕	19.2 (17.0) —	口縁部は、ナデ・指圧。胴部は、 内面が刷毛・ナデ、外面がヘラ 削り。 内外面に煤薄く付着。	明赤褐色。 やや堅い。 小砂粒・微少砂粒 少量、黒雲母・白 色物質微量。	口縁・胴上部ほ ぼ全体、胴中央 部1/2弱残存。 床面(炉A傍)。 図面14・18・44。
1095	M 24	S I 132	土師器 甕	19.0 (17.2) —	口縁部はナデ。胴部は、内面が 刷毛状具・ナデ、外面がヘラ削 り。 内外面に煤付着。	明赤褐色。 軟かい。 小砂粒・微小砂粒・ 雲母少量。	口縁・胴上半部 ほぼ完形。 竈A。 図面16・44。
1096	M 24	S I 132	土師器 甕	12.8 (10.5) —	口縁部は、ナデ。胴部は、内面 が刷毛・ナデ、外面が刷毛・指圧・ ヘラ削り。 内外面に煤付着。	灰白色。 やや堅い。 小砂粒少量、雲母 微量。	口縁・胴部1/4 弱残存。 竈A周辺上。 図面16・44。
1097	M 24	S I 132	土師器 甕	— (2.4) 6.0	胴下・底部は、内面が刷毛状具・ ナデ、外面がヘラ削り。薄く煤 付着。	橙色、にぶい橙色。 やや堅い。 小砂粒・微小砂粒・ 黒雲母少量。	胴下・底部1/4 強残存。 床面。 図面44。
1098	M 24	S I 132	土師器 甕	— (2.1) 4.0	胴最下・底部は、内面が刷毛状 具・ナデ、外面はヘラ削り。 煤激しく付着。	明赤橙色、にぶい 橙色。 やや堅い。 小砂粒やや多量、 黒雲母少量。	胴最下・底部 1/2残存。 S E区覆土。 図面44。
1099	M 24	S I 132	土師器 甕	— (5.7) 4.0	胴下・底部は、内面が刷毛状具・ ナデ、外面が激しく煤付着。	赤褐色、明赤褐色。 軟かい。大砂粒(～ 3mm)微量、小砂 粒・微小砂粒やや 多量、白色物質・ 雲母微量。	胴下部1/4、底 部ほぼ完形。 竈A。 図面16・44。
1100	M 24	S I 132	土師器 甕	— (3.0) 3.4	胴下・底部は、内面が刷毛状具・ ナデ、外面はヘラ削り。 全体に煤付着。	にぶい橙色。 軟かい。 小砂粒・微小砂粒 少量、黒雲母微量。	胴下部1/4弱、 底部1/2弱残 存。S W区覆土。 図面44。

番号	グリッド	遺構	器種 器型	法量	特徴	色調・質・胎土	残量 出土位置・図
1101	M 24	S I 132	土師器 台付甕	— (2.0) —	胴・底部は、内面が刷毛状具・ ナデ、外面はヘラ削り。台上部 は、ナデ。煤わずかに付着。	橙色。 やや堅い。 小砂粒少量、黒雲 母微量。	胴下部・台接合 部残存。 覆土。 図面 14・44。
1102	M 24	S I 132	須恵器 壺	12.2 3.8 7.6	ロクロ調整。底部は糸切り後、 外周ヘラ削り。 内面に煤付着。	灰白色。 堅い。 小砂粒・微少砂粒・ 白色物質微量。	全体 1/2 残存。 竈A・棚状。 図面 16・45。
1103	M 24	S I 132	須恵器 壺	12.2 3.4 6.6	ロクロ調整。底部は糸切り後、 再調整施さず。	灰白色。 堅い。 小砂粒・微小砂粒 微量。	全体 1/4 弱残存。 ピット。 図面 17・45。
1104	M 24	S I 132	須恵器 壺	11.8 3.7 7.0	ロクロ調整。底部は糸切り後、 外周ヘラ削り。	灰白色。堅い。 大砂粒 (～3mm)・ 小砂粒・微小砂粒 微量。	口縁・体部 1/4、 底部 1/8 強残存。 竈A周辺上。 図面 16・45。
1105	M 24	S I 132	須恵器 壺	11.8 3.4 6.5	ロクロ調整。底部は糸切り後、 外周ヘラ削り。 口縁部に重ね焼き痕あり。	青灰色。堅い。 大砂粒 (～4mm)・ 小砂粒・微小砂粒 微量。	完形。 覆土。 図面 14・45。
1106	M 24	S I 132	須恵器 壺	— (2.1) 7.4	ロクロ調整。底部は糸切り後、 外周ヘラ削り。	灰色。堅い。 大砂粒 (～4mm) 微量、小砂粒・微 小砂粒少量、白色 物質やや多量。	体下・底部 3/8 残存。 竈A上。 図面 16・45。
1107	M 24	S I 132	須恵器 壺	— (1.0) 6.4	ロクロ調整。底部は糸切り後、 外周ヘラ削り。	赤褐色、褐灰色。 堅い。小砂粒・微 小砂粒少量、白色 物質多量。	底部ほぼ完形。 覆土。 図面 14・45。
1108	M 24	S I 132	須恵器 壺	— (1.6) 8.0	ロクロ調整。底部は糸切り後、 外周または全面ヘラ削り。	灰白色。堅い。 小砂粒・微小砂粒 少量、白色物質微 量。	体下・底部 1/8 残存。 覆土。 図面 14・45。
1109	M 24	S I 132	須恵器 壺	11.6 3.3 7.1	ロクロ調整。底部は糸切り後、 再調整施さず。 口縁部に重ね焼き痕あり。	青灰色。 堅い。 大砂粒 (～5mm) 微量、小砂粒少量、 微小砂粒微量。	口縁・体部 1/2 強、底部完形。 竈B周辺上。 図面 17・45。
1110	M 24	S I 132	須恵器 壺	— (2.0) 6.6	ロクロ調整。底部は糸切り後、 再調整施さず。	灰色、外底面にぶ い橙色。 堅い。 大砂粒 (～2mm)・ 小砂粒微量。	体下部少量、底 部 1/2 弱残存。 竈B炭面。 図面 45。
1111	M 24	S I 132	須恵器 壺	— (1.2) 6.6	ロクロ調整。底部は糸切り後、 再調整施さず。	青灰色。堅い。 大砂粒 (～5mm)・ 小砂粒微量、微小 砂粒少量。	体下部少量、底 部 1/2 強残存。 SW区覆土。 図面 45。
1112	M 24	S I 132	須恵器 壺	12.6 3.4 7.6	ロクロ調整。底部は糸切り後、 ヘラ削り。体部は内面擦り痕・ 朱墨微かに付着。転用硯とみら れる。	灰白色。 堅い。 小砂粒・微小砂粒 少量。	口縁・体部 1/6 弱、底部微少残 存。SE区覆土。 図面 45。
1113	M 24	S I 132	須恵器 壺	15.8 5.5 8.0	ロクロ調整。底部は糸切り後、 外周ヘラ削り。	灰白色。 堅い。 小砂粒・微小砂粒 微量。	口縁部 1/8、体 部 1/4、底部 1/2 弱残存。 炉A。 図面 18・45。

番号	グリッド	遺構	器種・器型	法量	特徴	色調・質・胎土	残量 出土位置・図
1114	M 24	S I 132	須恵器 壺	15.2 5.4 8.2	ロクロ調整。底部は糸切り後、外周へラ削り。	灰白色。堅い。小砂粒・微小砂粒微量。	口縁部1/8、体・底部1/2弱残存。床面。図面18・45。
1115	M 24	S I 132	須恵器 壺	14.8 5.6 7.4	ロクロ調整。底部は糸切り後、外周または全面へラ削り。	青灰色、灰色。堅い。大砂粒(～5mm)微量、小砂粒・微小砂粒やや多量、白色物質多量。	口縁・体部1/4、底部少量残存。覆土。図面14・45。
1116	M 24	S I 132	須恵器 壺	— (2.4) 8.4	ロクロ調整。底部は糸切り後、全面へラ削り。	灰白色。堅い。大砂粒(～3mm)・小砂粒・白色物質微量。	体下・底部1/4弱残存。覆土。図面14・45。
1117	M 24	S I 132	須恵器 壺	10.8 (5.0) —	ロクロ調整。高台部貼り付け・ナデ。	暗青灰色。堅い。小砂粒・微小砂粒やや多量。	口縁・体部1/4弱残存、高台部欠損。覆土。図面14・45。
1118	M 24	S I 132	須恵器 壺	— (1.2) 7.6	ロクロ調整。底部は糸切り後、外周へラ削り。高台部は貼り付け・ナデ。	明赤褐色。堅い。小砂粒・微小砂粒少量、白色物質多量。	高台部1/2弱残存。SW区覆土。図面45。
1119	M 24	S I 132	須恵器 皿	— (1.2) —	ロクロ調整。	灰白色。やや軟かい。小砂粒・微小砂粒微量。	体下部1/4強残存。覆土。図面14・45。
1120	M 24	S I 132	須恵器 蓋	— (2.0) —	ロクロ調整。天井部は、へラ削り。	明赤褐色、灰黄色。やや軟かい。大砂粒(～5mm)・小砂粒微量、微小砂粒少量、白色物質微量。	天井部ほぼ完形、口縁部・つまみ欠損。覆土。図面14・45。
1121	M 24	S I 132	須恵器 蓋	— (2.4) —	ロクロ調整。天井部は、へラ削り。	青灰色。堅い。大砂粒(～2mm)微量、小砂粒・微小砂粒やや多量。	天井部完形、口縁部欠損。SW区覆土。図面45。
1122	M 24	S I 132	須恵器 蓋	10.8 (1.7) —	ロクロ調整。天井部は、へラ削り。	青灰色、灰白色。堅い。小砂粒・微小砂粒微量。	口縁・天井部1/4弱残存。覆土。図面14・45。
1123	M 24	S I 132	土師質土器 壺	— (2.0) 8.0	ロクロ調整。底部は糸切り後、再調整施さず。へラ記号Bあり。	灰黄色。堅い。大砂粒(～2mm)・小砂粒微量。	体下・底部1/2弱残存。竈B覆土。図面45。
1124	M 24	S I 133	土師器 台付甕	— (4.4) 9.6	胴・底部は、内面が刷毛状具・ナデ。台部は、内面がナデ、外面がへラ削り・横ナデ。全体に煤付着。	明赤褐色。軟かい。小砂粒・微小砂粒・黒雲母少量。	台部ほぼ完形、底端部やや欠損。周溝。図面20・46。
1125	M 24	S I 133	須恵器 壺	13.0 3.6 7.8	ロクロ調整。底部は糸切り後、外周または全面へラ削り。	青灰色。堅い。大砂粒(～3mm)微量、小砂粒・微小砂粒やや多量、白色物質微量。	全体1/4強残存。床面。図面19・46。
1126	M 24	S I 133	須恵器 壺	— (0.9) 7.4	ロクロ調整。底部は糸切り後、外周へラ削り。	青灰色。堅い。大砂粒(～2mm)微量、小砂粒少量、白色物質多量。	体下・底部1/4強残存。竈覆土。図面46。

別表8-11

番号	グリッド	遺構	器種 器型	法量	特徴	色調・質・胎土	残量 出土位置・図
1127	M 24	S I 133	須恵器 壊	15.0 3.3 10.4	ロクロ調整。底部は糸切り後、外周または全面へラ削り。	灰白色。堅い。 大砂粒(～3mm) 微量、小砂粒少量。	口縁・体部1/4、 底部少量残存。 SW区覆土。 図面46。
1128	M 24	S I 133	須恵器 壊	12.0 3.9 7.0	ロクロ調整。底部は糸切り後、外周へラ削り。 口縁部に重ね焼き痕あり。	灰色。堅い。 大砂粒(～3mm)・ 小砂粒・微小砂粒 やや多量、白色物質少量。	口縁部1/4弱、 底部完形。 覆土。 図面19・46。
1129	M 24	S I 133	須恵器 壊	11.8 3.2 6.8	ロクロ調整。底部は糸切り後、外周へラ削り。口縁部に重ね焼き痕、体部内外面に火だすき痕あり。	青灰色。堅い。 大砂粒(～2mm) 微量、小砂粒・微小砂粒やや多量、 白色物質やや多量。	口縁・体部1/3、 底部完形。 竈。 図面20・46。
1130	M 24	S I 133	須恵器 壊	— (0.8) 7.4	ロクロ調整。底部は糸切り後、外周へラ削り。	青灰色。堅い。 大砂粒(～3mm)・ 小砂粒少量、白色物質少量。	底部完形。 掘り方。 図面19・46。
1131	M 24	S I 133	須恵器 壊	17.2 7.4 11.6	ロクロ調整。底部は糸切り後、外周へラ削り。高台部は、外面が横ナデ・指圧、内面が横ナデ。底面にへラ記号C・指ナデ痕あり。	青灰色。堅い。 大砂粒(～2mm) 微量、小砂粒・微小砂粒少量。	口縁・体部1/2弱、 高台完形。 竈火床面。 図面20・46。
1132	M 24	S I 133	須恵器 甕	26.8 (17.5) —	口縁部は横ナデ。 胴上部は、外面がナデ、内面がへラ削り・ナデ・指圧。	青灰色、暗青灰色。堅い。大砂粒(～3mm) 微量、小砂粒・微小砂粒少量。	口縁・頸・肩部 1/4強残存。 竈。 図面20・46。
1133	M 24	S I 134	土師器 壊	14.2 (3.8) —	口縁部は横ナデ。体部は、内面がナデ・指圧、外面がへラ削り・へラナデ・指圧。煤若干付着。	橙色。 やや堅い。 小砂粒・微小砂粒 微量、雲母微量。	口縁・体部1/4、 底部微少残存。 床面。 図面21・46。
1134	M 24	S I 134	縄文土器 浅鉢	— (5.2) —	口縁部はナデ・ミガキ。 内面文様は、半截竹管による円弧状の連続刺突文、平行線の連続刺突文。一部煤付着。	にぶい橙色。 やや堅い。大砂粒 (～2mm)・小砂粒 微量、雲母微量。	口縁部少量残存。 掘り方。 図面21・46。
1135	M 24	S I 135	土師器 甕	11.8 (4.3) —	口縁部は横ナデ。胴上部は、内面が刷毛状具・ナデ、外面がへラ削り。全体に煤付着。	赤褐色。 やや堅い。 小砂粒・微小砂粒・ 雲母少量。	口縁～胴上部 1/2強残存。 床面・掘り方。 図面22・47。
1136	M 24	S I 135	須恵器 壊	— (1.5) 6.2	ロクロ調整。底部は糸切り後、外周へラ削り。	灰白色。堅い。 大砂粒(～3mm) 微量、小砂粒少量、 白色物質やや多量。	体下部少量、底部 1/4強残存。 床面。 図面22・47。
1137	M 24	S I 135	須恵器 壊	12.0 3.4 7.0	ロクロ調整。底部は糸切り後、再調整施さず。	灰色。堅い。 大砂粒(～2mm)・ 小砂粒微量。	全体1/4弱残存。 SE区覆土。 図面47。
1138	M 24	S I 135	須恵器 壊	11.6 3.4 6.5	ロクロ調整。底部は糸切り後、再調整施さず。口縁部に重ね焼き痕あり。	灰白色。堅い。 大砂粒(～5mm) 微量、小砂粒・微小砂粒少量。	口縁部1/3欠損。 掘り方。 図面22・47。
1139	M 24	S I 135	須恵器 壊	— (2.7) 6.8	底部、ロクロ順回り、糸切り、再調整施さず。	青灰色。堅い。小砂粒・微小砂粒少量、白色物質微量。	体下・底部1/2弱残存。 覆土。 図面22・47。

別表8-12

番号	グリッド	遺構	器種 器型	法量	特徴	色調・質・胎土	残量 出土位置・図
1140	M 24	S I 135	須恵器 壺	— (2.1) 6.4	ロクロ調整。底部は糸切り後、再調整施さず。	にぶい赤褐色、黒褐色。堅い。大砂粒(～2mm)・長石微量、小砂粒少量、白色物質多量(非常に多い)。	体下・底部1/2残存。N E区覆土。図面47。
1141	M 24	S I 135	須恵器 壺	— (2.3) 6.2	ロクロ調整。底部は糸切り後、再調整施さず。外面わずかに煤付着。	灰黄色。堅い。小砂粒・微小砂粒・白色物質微量。	体下部少量、底部1/4残存。覆土。図面22・47。
1142	M 24	S I 135	須恵器 壺	— (1.8) 7.0	ロクロ調整。底部は糸切り後、再調整施さず。火だすき痕・重ね焼き痕あり。	灰色。堅い。大砂粒(～3mm)、小砂粒微量、白色物質やや多量。	底部1/4強残存。覆土。図面22・47。
1143	M 24	S I 135	須恵器 壺	— (1.3) 6.0	ロクロ調整。底部は糸切り後、再調整施さず。	灰色、黄褐色。堅い。大砂粒(～3mm)、小砂粒・白色物質微量、長石やや多量。	底部完形。覆土。図面22・47。
1144	M 24	S I 135	須恵器 壺	16.0 (5.4) —	ロクロ調整。	灰色。堅い。大砂粒(～2mm)微量、小砂粒少量、白色物質やや多量。	口縁・体上部1/8残存。床面。図面22・47。
1145	M 24	S I 135	須恵器 蓋	16.2 (2.2) —	ロクロ調整。	灰白色。堅い。大砂粒(～3mm)・長石・白色物質微量、小砂粒少量。	口縁部1/4弱残存、天井部欠損。N E区覆土。図面47。
1146	M 24	S I 135	土師質土器 壺	13.0 (3.9) —	ロクロ調整。内外面部分の煤付着。火だすき痕あり。	にぶい黄橙色。やや軟かい。小砂粒・微小砂粒微量。	口縁・体部1/8残存、底部欠損。ピット。図面22・47。
1147	M 24	S I 135	土師質土器 壺	— (1.8) 7.2	ロクロ調整。底部は糸切り後、再調整施さず。	にぶい黄橙色。やや軟かい。大砂粒(～5mm)・小砂粒・長石微量。	体下部少量、底部1/2強残存。覆土。図面22・47。
1148	M 24	S B 3	土師器 甕	— (2.7) 4.6	底部は、内面が刷毛状具・ナデ、外面がヘラ削り。	橙色、にぶい橙色。軟かい。小砂粒・微小砂粒・雲母少量。	底部1/4弱残存。P-4-1覆土。図面47。
1149	M 24	S B 4	須恵器 壺	— (1.0) 7.0	ロクロ調整。底部は糸切り後、外周ヘラ削り。	灰白色。堅い。小砂粒・微小砂粒少量、白色物質微量。	底部1/5残存。P-4-1覆土。図面47。
1150	M 24	S A 1	須恵器 壺	12.2 (3.2) —	ロクロ調整。口縁内面重ね焼き痕(帶状の粘土)付着。	灰色。堅い。大砂粒(～3mm)微量、小砂粒・微小砂粒少量。	口縁・体上部1/8強残存。P-13覆土。図面28・48。
1151	M 24	S A 1	須恵器 壺	— (0.6) 7.0	ロクロ調整。内底面に擦り痕。中心に朱墨微かに付着。転用硯とみられる。底部は糸切り後、再調整施さず。ヘラ記号Bあり。	明青灰色、赤色。堅い。小砂粒・長石少量、白色物質微量。	底部1/3残存、体部欠損。P-11覆土。図面28・48。
1152	M 24	S K 45	須恵器 蓋	15.8 (2.3) —	ロクロ調整。天井部はヘラ削り。	灰白色。堅い。小砂粒・微小砂粒少量。	口縁・天井部1/8残存、天頂部欠損。覆土。図面48。

番号	グリッド	遺構	器種 器型	法量	特徴	色調・質・胎土	残量 出土位置・図
1153	M 24	S K 46	土師器 壺	— (3.0) —	口縁部は横ナデ。 体部は、内面がナデ・外面がヘラ削り。 内面・口縁・外面体部丹塗り。	橙色。 やや堅い。 小砂粒・微小砂粒 微量。	口縁・体部少量 残存。 覆土。 図面 48。
1154	M 24	S K 46	須恵器 壺	— (4.5) —	ロクロ調整。	青灰色。堅い。 大砂粒(～3mm) 微量、小砂粒・微 小砂粒多量。	口縁・体上部少 量残存。 覆土。 図面 48。
1155	M 24	S K 49	須恵器 壺	— (3.4) 7.6	ロクロ調整。底部は糸切り後、 全面ヘラ削り。	青灰色。堅い。 大砂粒(～5mm) 微量、小砂粒・微 小砂粒少量、白色 物質少量。	体部少量、底部 1/2 強残存。 覆土。 図面 31・48。
1156	M 24	S K 49	須恵器 壺	12.0 3.6 7.4	ロクロ調整。底部は糸切り後、 外周または全面ヘラ削り。	灰白色。 堅い。 大砂粒(～8mm) 小砂粒微量。	口縁少量、体・ 底部1/6弱残存。 覆土。 図面 48。
1157	M 24	S K 49	須恵器 壺	13.0 3.9 7.4	ロクロ調整。底部は糸切り後、 再調整施さず。 重ね焼き痕あり。	青灰色。堅い。 大砂粒(～3mm) 微量、小砂粒・微 小砂粒やや多量。	口縁・体部1/8、 底部微少残存。 覆土。 図面 48。
1158	M 24	S K 49	須恵器 壺	— (2.1) 6.9	ロクロ調整。底部は糸切り後、 再調整施さず。	青灰色。堅い。 大砂粒(～3mm) 微量、小砂粒・微 小砂粒やや多量。	体下・底部1/8 強残存。 覆土。 図面 31・48。
1159	M 24	S K 49	須恵器 壺	— (1.7) 6.0	ロクロ調整。底部は糸切り後、 再調整施さず。	青灰色。 堅い。 小砂粒・微小砂粒 微量。	体下・底部1/4 弱残存。 覆土。 図面 31・48。
1160	M 24	S K 49	須恵器 壺	— (1.0) 5.1	ロクロ調整。底部は糸切り後、 再調整施さず。	灰白色。堅い。 大砂粒(～7mm) 微量、小砂粒・微 小砂粒少量、白色 物質微量。	底部1/2残存。 覆土。 図面 48。
1161	M 24	S K 49	須恵器 甕	— (3.6) —	口縁・頸部は、ナデ。頸部に自然釉付着。口縁外面に降灰付着。	青灰色。 堅い。 小砂粒・微小砂粒 やや多量。	口縁・頸上部少 量残存。 覆土。 図面 48。
1162	M 24	S K 49	須恵器 長頸瓶	— (4.2) —	頸部は、ナデ。 頸部内外面に降灰・自然釉付着。	灰白色。 堅い。 小砂粒・微小砂粒 少量。	頸部1/4残存。 覆土。 図面 31・48。
1163	M 24	S K 50	須恵器 壺	— (1.1) 6.4	ロクロ調整。底部は糸切り後、 再調整施さず。	暗青灰色。堅い。 小砂粒・微小砂粒 少量。白色物質微量。	底部1/4残存。 覆土。 図面 49。
1164	M 24	S K 54	須恵器 壺	— (2.1) 5.0	ロクロ調整。底部は糸切り後、 再調整施さず。内面は降灰付着。 内面ヘラ記号C、外底面ヘラ記 号Aあり。	青灰色。 堅い。 大砂粒(～3mm)・ 小砂粒微量。	体部少量、底部 1/2弱残存。 覆土。 図面 32・49。
1165	M 24	S K 54	須恵器 甕	— (2.7) —	口縁・頸部は、ナデ。 全体自然釉(オリーブ黒色)付着。	灰色。堅い。 小砂粒・微小砂粒 多量、白色物質微量。	口縁・頸上部少 量残存。 覆土。 図面 32・49。
1166	M 24	S K 55	須恵器 壺	— (1.0) 5.0	ロクロ調整。底部は糸切り後、 再調整施さず。	にぶい赤褐色、赤 灰色。堅い。 小砂粒・微小砂粒 少量。	底部1/4弱残存。 覆土。 図面 32・49。

別表8-14

番号	グリッド	遺構	器種 器型	法量	特徴	色調・質・胎土	残量 出土位置・図
1167	M 24	S K 55	須恵器 瓶	— (2.3) 9.2	底部はナデ。 台部はナデ。 全面に自然釉付着。	灰色。 堅い。 小砂粒・微小砂粒 やや多量。	高台部1/4残存, 体底面欠損。 覆土。 図面32・49。
1168	M 24	S K 58	灰釉陶器 塊	13.8 (2.8) —	ロクロ調整。外面口縁端部の一部と内面全体に施釉。	灰白色。 堅い。 小砂粒・微小砂粒 少量。	口縁・体部1/8 残存。 覆土。 図面32・49。
1169	M 24	S K 58	灰釉陶器 塊	— (1.4) 6.2	ロクロ調整。底部は糸切り。高台部は、ナデ。高台部に釉薬がわずかに付着。	灰白色。堅い。 大砂粒(～4mm) 微量、小砂粒・微小砂粒・白色物質 微量。	高台部1/4残存。 覆土。 図面32・49。
1170	M 24	S D 13	須恵器 瓶または鉢	— (2.6) 12.0	内面がナデ、外面がヘラ削り・ ナデ。 底部がヘラ削り。	内面灰色、外面灰 色。堅い。 小砂粒・微小砂粒 少量。	底部1/6弱残存。 覆土。 図面49。
1171	M 24	S D 13	須恵器 甕	— (4.1) 11.0	ロクロ調整。底部は糸切り後、 再調整施さず。外面下部ヘラ削り。 内外面降灰付着。	青灰色。 堅い。 大砂粒(～3mm)・ 小砂粒少量。	底端部1/4弱残 存。底面中心欠 損。覆土。 図面33・49。
1172	M 24	S D 13	土師質土器 塊	— (2.5) 8.4	体部は、内面が刷毛状具・ナデ、 外面はナデ。高台部はナデ。接合部は、煤激しく付着。	橙色、にぶい橙色。 軟かい。 大砂粒(～3mm)・ 雲母・白色物質微 量、小砂粒少量。	高台部完形。 覆土。 図面33・49。
1173	M 24	P 3-027	須恵器 壺	— (3.3) —	ロクロ調整。口縁部自然釉(重 ね焼き)付着。	灰色。 堅い。 小砂粒・白色物質 少量。	口縁・体上部少 量残存。 覆土。 図面35・50。
1174	M 24	P 3-045	須恵器 壺	14.2 (3.2) —	ロクロ調整。 外面体下部ヘラ削り。 重ね焼き痕あり。	灰色。 堅い。 小砂粒・微小砂粒 少量。	口縁・体上部 1/8残存。 覆土。 図面35・50。
1175	M 24	P 3-466	須恵器 壺	— (0.6) 7.0	ロクロ調整。底部は糸切り後、 外周ヘラ削り。 重ね焼き痕(粘土付着)あり。	灰色。堅い。 小砂粒・微小砂粒 少量、白色物質微量。	底部1/4強残存。 覆土。 図面35・50。
1176	M 24	P 3-582	土師器 甕	— (2.1) 5.0	底部は、内面が刷毛状具・ナデ、 外面がヘラ削り。全体に激しく 煤付着。	明赤褐色、暗赤灰 色。やや堅い。 小砂粒・微小砂粒 やや多量、雲母少 量、白色物質微量。	底部1/4残存。 覆土。 図面35・50。
1177	M 24	P 3-944	須恵器 皿	17.0 (2.8) —	ロクロ調整。重ね焼き痕あり。 蓋の可能性あり。	青灰色。堅い。 小砂粒・微小砂粒 少量、白色物質微量。	口縁・体上部 1/8残存。 覆土。 図面50。
1178	M 24	P 3-1010	須恵器 壺	13.0 (3.8) —	ロクロ調整。	灰白色。堅い。 大砂粒(～3mm) 微量、小砂粒少量、 白色物質多量。	口縁部1/12、体 部1/6残存。 覆土。 図面50。
1179	M 24	P 3-1028	須恵器 蓋	16.0 (2.5) —	ロクロ調整。天井部はヘラ削り。	灰白色。 堅い。 大砂粒(～3mm) 微量、小砂粒少量。	口縁部1/4残 存、天井部欠損。 覆土。 図面50。

番号	グリッド	遺構	器種 器型	法量	特徴	色調・質・胎土	残量 出土位置・図
1180	M 24	P 3-1061	須恵器 壺	— (1.0) 6.1	ロクロ調整。底部は糸切り後、外周へラ削り。	暗青灰色。堅い。 大砂粒微量、小砂粒・微小砂粒少量、白色物質やや多量。	底部完形。 下端。 図面 50。
1181	M 24	表土	現代磁器 井	16.2 8.1 6.6	統制陶器(国民食器)。ロクロ調整。全面施釉(高台底部・接地部露胎)。口縁に緑色環状線2条。底面に統制番号『岐668』刻印。	白色。 堅い。 黒色粒子微量。	ほぼ完形。 図面 51。
1182	M 24	I層 (9, 14)	土師器 台付甕	— (2.3) —	底部は、内面が刷毛状具・ナデ。台部はナデ。煤激しく付着。	橙色。 やや堅い。 小砂粒・微小砂粒・黒雲母少量。	台部接合部完形。 図面 51。
1183	M 24	I層	須恵器 壺	— (1.1) 7.2	ロクロ調整。底部は糸切り後、外周へラ削り。	青灰色。堅い。 大砂粒(～6mm)少量、小砂粒やや多量、白色物質少量。	体下部少量、底部1/2強残存。 図面 36・51。
1184	M 24	I層	須恵器 瓶	— (2.0) 10.4	ロクロ調整。底部は糸切り後、全面へラ削り。高台部はナデ。	内面にぶい褐色、 外面青灰色。堅い。 大砂粒(～2mm)・ 小砂粒微量、白色物質やや多量。	高台部1/4弱残存。 図面 36・51。
1185	M 24	I層 (13, 16)	綠釉陶器 壺	— (3.3) —	ロクロ調整。全面施釉。体部に沈線が縦に4本入る。	オリーブ黒色、灰色。 堅い。 砂粒微量。	口縁・体部少量残存。 図面 51。
1186	M 24	I層 (13, 16)	近世磁器 碗	— (2.0) 5.4	ロクロ調整。全面施釉(接地部露胎)・体部内外面染付。	白色。 堅い。 黒色粒子少量。	体下・台部1/4弱残存。 図面 51。
1187	M 24	II層	土師器 台付甕	— (4.6) 11.0	底部は、内面が刷毛状具・ナデ。台部はナデ・指圧。外面に煤付着。	にぶい橙色、橙色。 やや堅い。小砂粒・ 微小砂粒少量、雲母・白色物質微量。	胴下部少量、台接合部完形。 図面 36・51。
1188	M 24	II層	須恵器 壺	11.2 3.2 5.8	ロクロ調整。底部は糸切り後、再調整施さず。口縁部に重ね焼き痕あり。	青灰色。 堅い。 大砂粒(～3mm) 微量、小砂粒・微小砂粒微量。	全体1/4強残存。 図面 36・51。
1189	M 24	II層	須恵器 壺	11.2 3.0 5.8	ロクロ調整。底部は糸切り後、再調整施さず。	青灰色。堅い。 大砂粒(～3mm) 微量、小砂粒・微小砂粒少量。	全体1/4強残存。 図面 36・51。
1190	M 24	II層	須恵器 壺	— (1.15) 8.1	ロクロ調整。底部は糸切り後、外周へラ削り。	青灰色。 堅い。 小砂粒・白色物質微量。	底部1/4強残存。 図面 36・51。
1191	M 24	II層	須恵器 壺	— (1.55) 6.4	ロクロ調整。底部は糸切り後、再調整施さず。ヘラ記号Aあり。	青灰色。堅い。 大砂粒(～2mm) 微量、小砂粒・微小砂粒少量。	底部1/3強残存。 図面 36・51。
1192	M 24	II層	須恵器 壺	— (1.0) 6.0	ロクロ調整。底部は糸切り後、外周へラ削り。内面に火だすき痕あり。	青灰色。堅い。 大砂粒(～2.5mm) 微量、小砂粒・白色物質少量。	底部1/3強残存。 図面 36・51。
1193	M 24	II層	須恵器 壺	— (2.45) 6.0	ロクロ調整。底部は糸切り後、再調整施さず。	灰色。堅い。 大砂粒(～3mm) 微量、小砂粒・微小砂粒少量。	体下・底部1/4弱残存。 図面 36・51。

別表8-16

番号	グリッド	遺構	器種 器型	法量	特徴	色調・質・胎土	残量 出土位置・図
1194	M 24	II層	須恵器 壺	— (1.55) 6.0	ロクロ調整。底部は糸切り後、再調整施さず。	灰色。堅い。 大砂粒(～2mm) 微量、小砂粒・微小砂粒少量。	底部1/4弱残存。 図面36・51。
1195	M 24	II層	須恵器 壺	— (1.4) 8.0	ロクロ調整。底部は糸切り後、外周へラ削り。	にぶい黄橙色。 やや軟かい。大砂粒(～2mm)・小砂粒・微小砂粒微量。	底部1/4弱残存。 図面36・51。
1196	M 24	II層	須恵器 壺	— (1.5) 6.2	ロクロ調整。底部は糸切り後、全面へラ削り。	灰白色。堅い。 小砂粒多量、微小砂粒少量、長石微量。	高台部1/2弱残存。 図面36・51。
1197	M 24	II層	須恵器 甕	— (2.3) 11.2	底部は、へラ削り・ナデ。	青灰色。 堅い。 小砂粒・微小砂粒微量。	底部1/4残存。 図面36・51。
1198	M 24	II層	土師質土器 壺	— (1.2) 5.4	ロクロ調整。底部は糸切り後、再調整施さず。底部中央に孔あり。煤付着。	明黄褐色、灰黄褐色。 軟かい。 小砂粒・微小砂粒微量。	底部1/2弱残存。 図面36・51。
1199	M 24	II層	土師質土器 壺	— (1.35) 6.0	ロクロ調整。底部は糸切り後、再調整施さず。	にぶい黄橙色。 やや軟かい。 大砂粒(～2mm)・小砂粒微量。	底部1/4弱残存。 図面36・51。
1200	M 24	II層	土師質土器 壺	— (2.0) 7.7	底部内面は、ナデ。台部は、ナデ。	明赤褐色。やや軟かい。大砂粒(～8mm)微量、小砂粒少量、雲母微量。	体下・底部1/4弱残存。 図面36・51。
1201	M 24	II層	土師質土器 壺	— (2.6) 6.9	底部内面は、ナデ。台部は、ナデ。	浅黄橙色。 軟かい。 小砂粒少量、黒雲母微量。	高台部1/3残存。 図面36・51。
1202	M 24	III層	須恵器 壺	— (1.8) 8.0	ロクロ調整。底部は糸切り後、外周へラ削り。	青灰色。 堅い。 小砂粒少量、微小砂粒やや多量。	体部少量、底部1/2弱残存。 図面36・51。
1203	M 24	III層	須恵器 壺	— (3.2) 8.6	ロクロ調整。底部は糸切り後、再調整施さず。へラ記号Bあり。外面に降灰付着。	青灰色。堅い。 大砂粒(～4mm) 微量、小砂粒・微小砂粒やや多量。	体下・底部1/4弱残存。 図面36・51。
1204	M 24	III層	土師質土器 皿または壺	— (3.9) 8.0	ロクロ調整。底部は糸切り後、再調整施さず。	にぶい赤褐色、橙色。 やや軟かい。 大砂粒(～3mm)・小砂粒・微小砂粒・白色粒子微量。	体下部1/8弱、 底部1/4残存。 図面36・51。
1205	M 24	III層	縄文土器 浅鉢	— (5.1) —	口縁部はナデ・ミガキ。内面文様は、半截竹管によるやや円弧状の連続刺突文、輪花状刺突文。一部煤付着。	にぶい橙色。やや堅い。大砂粒(～2mm)・小砂粒少量、雲母微量。	口縁部少量残存。 図面36・51。
1206	M 24	III層	縄文土器 浅鉢	— (3.6) —	口縁部はナデ・ミガキ。内面文様は、半截竹管による4段平行線の連続刺突文、半輪花状刺突文。一部煤付着。	にぶい橙色。 やや堅い。 大砂粒(～3mm)・小砂粒少量、雲母微量。	口縁部少量残存。 図面36・51。

別表 9

瓦 観察表

番号	グリッド	遺構	器種 器型	特徴
101	M 24	S I 129	平瓦	現存長 5.5, 現存幅 6.1, 厚さ 1.4cm, 重量 52 g。灰色。少量残存。凸面: 太い縄目。凹面: 粗い布目。側面: ヘラ削り・ナデ。出土位置・図: 覆土。図面 8・52。
102	M 24	S I 130	平瓦	現存長 7.2, 現存幅 3.1, 厚さ 2.1cm, 重量 28 g。橙色。少量残存。凸面: 太い縄目。凹面: 細い布目。出土位置・図: SW区覆土。図面 52。
103	M 24	S I 131	平瓦	現存長 5.6, 現存幅 6.9, 現存厚 2.3 ~ 2.5cm, 重量 83 g。灰色。少量残存。凸面: 細い縄目。凹面: 粗い布目。出土位置・図: NE区覆土。図面 52。
104	M 24	S I 132	丸瓦	現存長 5.1, 現存幅 7.2, 厚さ 1.3 ~ 1.8cm, 重量 107 g。灰白色。少量残存。凸面: ヘラナデ。凹面: 細い布目。出土位置・図: 床面。図面 18・52。
105	M 24	S K 46	平瓦	現存長 10.0, 現存幅 8.2, 厚さ 1.8 ~ 2.1cm, 重量 164 g。橙色, にぶい橙色。少量残存。凸面: 太い縄目。凹面: 細い布目。出土位置・図: 覆土。図面 31・52。
106	M 24	S K 55	平瓦	現存長 5.1, 現存幅 6.6, 厚さ 2.0cm, 重量 109 g。灰色。少量残存。凸部: 太い縄目。凹部: 細い布目。端部: ヘラ削り・ヘラ疵あり。出土位置・図: 覆土。図面 32・52。
107	M 24	S K 61	平瓦	現存長 6.4, 現存幅 7.4, 現存厚 1.8cm, 重量 73 g。灰白色。側面部少量残存。凸面: 太い縄目。凹面: 不明。側面: ヘラ削り・ナデ。出土位置・図: 覆土。図面 32・52。
108	M 24	S D 13	丸瓦	現存長 8.5, 現存幅 11.5, 厚さ 1.2 ~ 2.4cm, 重量 259 g。にぶい赤褐色, 暗赤褐色。端部少量残存。粘土紐痕あり。凸面: ヘラナデ。降灰付着, 凹面: 細い布目。一部ナデ調整。端面: ヘラ削り・ナデ。降灰全面付着。側面: ヘラ削り。出土位置・図: 覆土。図面 33・52。
109	M 24	S D 13	丸瓦	現存長 7.0, 現存幅 6.0, 厚さ 1.4 ~ 2.8cm, 重量 115 g。暗青灰色。端部少量。凸面: 太い縄目・ナデ消し。凹面: 細い布目。端面: ヘラ削り。出土位置・図: 覆土。図面 52。
110	M 24	P 3-372	平瓦	現存長 7.0, 現存幅 4.1, 厚さ 1.0cm, 重量 27 g。褐灰色, にぶい赤褐色。少量残存。凸面: 無文ヘラナデ・ナデ。凹面: 粗い布目。出土位置・図: 覆土。図面 52。
111	M 24	P 3-851	丸瓦	現存長 6.4, 現存幅 4.8, 厚さ 1.7 ~ 2.3cm, 重量 101 g。灰色。端部少量残存。凸面: ヘラナデ・ナデ。凹面: 細い布目。端部付近ヘラナデ・隅落し。端面: ヘラ削り・ナデ。出土位置・図: 覆土。図面 52。

別表 10

土製品 観察表

番号	グリッド	遺構	器種 器型	特徴
201	M 24	S I 132	不明 粘土製品	現存縦 4.4, 現存横 2.6, 現存厚 2.2cm, 重量 13 g。赤橙色, 淡赤橙色。穿孔 8か所 (内 3か所貫通)。出土位置・図: 覆土。図面 14・53。
202	M 24	S B 3	土錘	管状の土錘。現存長 5.1, 径 1.7 ~ 2.2, 孔径 0.5cm。重量 16 g。明赤褐色, 赤灰色。3/4 残存。出土位置・図: P-4-3 覆土。図面 23・53。
203	M 24	S B 6	円面硯	現存高 2.3cm。内面灰色, 外面暗青灰色。堅い・須恵質。底部少量残存。小砂粒・微小砂粒やや多量, 長石・白色物質微量。ロクロ調整。外面に縦の沈線 4 条あり。出土位置・図: P-1-4 覆土。図面 53。
204	M 24	II層	支脚	現存長 7.2, 最大径 3.4cm。重量 89 g。にぶい赤褐色。端部煤激しく付着。小砂粒・微小砂粒やや多量, 白色粒子微量, 黒雲母少量。出土位置・図: 図面 36・53。

別表 11

鉄製品・鉄観察表

番号	グリッド	遺構	器種 器型	特徴
301	M 24	S I 128	刀子	現存長 10.45, 身部長 6.5, 茎部長 3.45, 身部中央部 1.45, 身部中央厚 0.3 cm, 重量 8 g。切先と茎尻部欠損。棟区・刃区残存。出土位置・図：S E 区覆土。図面 53。
302	M 24	S I 128	不明 鉄製品	鋳造製品。現存長 7.6, 現存幅 4.9, 厚さ 0.8 cm, 重量 104 g。表面粗い。出土位置・図：掘り方。図面 4・53。
303	M 24	S I 130	刀子	身部現存長 5.0, 現存幅 0.7 ~ 1.1, 厚さ 0.2 ~ 0.5 cm, 重量 4 g。刃身一部残存。出土位置・図：S W 区覆土。図面 53。
304	M 24	S I 130	鉄滓	全長 9.3, 幅 7.1, 厚さ 1.5 ~ 3.3 cm, 重量 275 g。表面発泡。大小砂粒, 多量付着。出土位置・図：覆土。図面 9・53。
305	M 24	S I 131	刀子	全長 4.0, 幅 0.8, 厚さ 0.1 ~ 0.3 cm, 重量 2 g。茎部, 木質がわずかに残存。出土位置・図：NW 区覆土。図面 53。
306	M 24	S I 133	手鎌または 鍬?	全長 2.5, 幅 1.9, 厚さ 0.1 cm, 重量 4 g。上部屈曲。3枚鍛着か。出土位置・図：籠覆土。図面 53。
307	M 24	S I 135	鎌	推定長 10.1, 幅 2.9 ~ 4.2, 厚さ 0.1 ~ 0.2 cm, 重量 32 g (2片計)。出土位置・図：S W 区覆土。図面 53。
308	M 24	S K 33	不明 鉄製品	棒状製品。現存長 3.7, 幅 0.7 ~ 1.1, 厚さ 0.3 ~ 0.5 cm, 重量 4 g。出土位置・図：覆土。図面 53。
309	M 24	S K 41	鉄釘	現存長 2.5, 幅 0.2 ~ 0.4, 厚さ 0.2 ~ 0.4 cm, 重量 1 g。茎中部残存。出土位置・図：覆土。図面 30・53。
310	M 24	P 3-854	鉄釘	推定長 9.9, 幅 0.3 ~ 0.4, 厚さ 0.3 ~ 0.4 cm, 重量 9 g。茎部欠損, 頭部梢円形。出土位置・図：覆土。図面 53。
311	M 24	I 層	鉄釘	現存長 4.8, 幅 0.3 ~ 0.5, 厚さ 0.3 cm, 重量 3 g。頭部欠損。断面台形状。出土位置・図：図面 36・53。
312	M 24	II 層 (13, 13)	刀子?	現存長 3.3, 幅 1.2, 厚さ 0.3 ~ 0.5 cm, 重量 3 g。刀身中央部残存か。図面 53。
313	M 24	II 層	鉄釘	現存長 3.7, 幅 0.4 (頭部 1.0), 厚さ 0.5 ~ 0.7 cm, 重量 3 g。釘先欠損。出土位置・図：図面 36・53。

別表 12

銅製品・非鉄製品観察表

番号	グリッド	遺構	器種 器型	特徴
401	M 24	S I 132	不明 銅製品	現存長 2.2, 現存幅 1.4, 厚さ 0.1 cm, 重量 1 g。表側金鍍金あり。裏側鍍金なし。穿孔 1 (または 2) 穴あり。孔径 1.5 mm。出土位置・図：床面上。図面 14・54。
402	M 24	S X 4	サーベル式 軍刀	現存長 22.3, 幅 9.9, 最大厚(柄身) 2.5 cm, 重量 350 g。柄部分ほぼ完形。真鍮製。護拳と背金は鍍金剥離激しい。柄木製, 鮫皮, 金巻わずかに付着。八重桜, 白銀紋。出土位置・図：覆土。図面 54。

別表 13

石製品・石器・石観察表

番号	グリッド	遺構	器種 器型	特徴
501	M 24	S I 126	石製品 砥石	残存長 15.3, 残存幅 11.8, 厚さ 5.0 cm, 重量 868 g。端面: 残存面使用。側面: 残存面使用。偏平面: 両面使用。流紋岩。出土位置・図: 周溝。図面 1・55。
502	M 24	S I 129	石製品 石鎧巡方	縦幅 3.0, 横幅 3.5, 厚さ 0.5 cm, 重量 13 g。完存。面取り成形。長方形孔 (縦 0.6, 横 1.8 cm) 裏側 2 × 4箇所潜り穴 (孔径 2 mm)。蛇紋岩。出土位置・図: 床面直上。図面 8・55。
503	M 24	I 層 (13, 16)	石製品 砥石	現存長 5.14, 現存幅 3.41, 厚さ 0.8 ~ 1.5 cm, 重量 28 g。端面欠損。側面: 両面使用。偏平面: 使用面と成形面。流紋岩。図面 55。
504	M 24	I 層 (10, 12)	石製品 砥石	現存長 3.2, 現存幅 2.5, 厚さ 1.05 ~ 1.45 cm, 重量 16 g。端面: 片面成形面。側面: 使用・成形面。偏平面: 使用・成形面。流紋岩。図面 55。
505	M 24	II~III層 (8, 11)	石製品 砥石	現存長 2.65, 現存幅 2.08, 厚さ 0.5 ~ 0.6 cm, 重量 6 g。現存 3面使用。玉髓。図面 55。
506	M 24	II~III層 (10, 13)	石製品 砥石	現存長 4.15, 現存幅 2.4, 厚さ 1.2 cm, 重量 14 g。端面欠損。側面: 使用面一部残存。偏平面: 両面使用。径 3 ~ 5 mm の穿孔あり。携帯用砥石か。流紋岩。図面 55。
507	M 24	S I 128	石器 凹石	現存長 11.43, 現存幅 9.1, 現存厚 3.5 cm, 重量 544 g。打痕あり。砂岩。出土位置・図: 爐内。図面 56。
508	M 24	S I 128	不明 石	棒状石器? 全長 13.7, 幅 3.2, 厚さ 1.9 cm, 重量 157 g。砂岩。出土位置・図: 覆土。図面 4・56。
509	M 24	S I 132	不明 石器	棒状石器。全長 15.85, 幅 3.2 ~ 4.2, 厚さ 2.7 ~ 4.4 cm, 重量 411 g。打痕あり。砂岩。出土位置・図: 床面。図面 18・56。
510	M 24	II層	石器 削器	全長 5.85, 幅 4.1, 厚さ 0.1 ~ 1.55 cm, 重量 29 g。チャート。出土位置・図: 図面 36・56。
511	M 24	S I 132	支脚石	全長 23.15, 最大幅 10.0, 最大厚 7.65 cm, 重量 2100 g。上部剥離。砂質頁岩。出土位置・図: 竈A。図面 16・57。
512	M 24	S I 132	支脚石	全長 20.45, 最大幅 8.4, 最大厚 6.95 cm, 重量 1507 g。一面煤付着。両側面薄く剥離。砂質頁岩。出土位置・図: 竈A。図面 16・57。
513	M 24	S I 132	竈石	全長 37.4, 最大幅 17.2, 最大厚 12.2 cm, 重量 12400 g。竈A袖部の石組み材。被熱痕あり。砂岩。図面 16・57。
514	M 24	S I 132	竈石	現存長 39.7, 最大幅 18.9, 最大厚 12.7 cm, 重量 12500 g。竈A袖部の石組み材。被熱痕あり。砂岩。出土位置・図: 図面 16・57。
515	M 24	S I 132	石	全長 30.65, 最大幅 17.2, 最大厚 8.5 cm, 重量 7000 g。砂岩。竈石の可能性あり。出土位置・図: 床面。図面 18・57。

